

地方移住の希望に関する意識調査
報告書

令和6年10月

上山市

目次

1. 調査要領	4
(1) 調査の概要	4
(2) 調査の項目	5
① 転入者に対する意識調査	5
② 転出者に対する意識調査	8
2. 調査結果	12
(1) 単純集計結果①転入者	12
問1 あなたの戸籍上の性別は。	12
問2 お年は。	12
問3 当地での家族構成は。	13
問4 (子どもをお持ちの方) 同居されているお子さんの現況は(あてはまるもの全てに○)。	14
問5 ここに転入される前の居住地での家族構成は。	15
問6 当地での就業の形態は次のどれにあたりますか。	16
問6 10. その他(自由記述)	17
問7 通勤先や通学先はどちらですか。市外の方は市区町村名もご記入ください。	17
問8 ここに転入される前の居住地での就業の形態は次のどれにあたりますか。	18
問8 10. その他(自由記述)	19
問9 当地でお住まいの住宅は。	19
問10 当地に転入される前の居住地でお住まいだった住宅は。	20
問11 当地に転入された時期は。	20
問12 当地に転入される前の居住地は(都道府県名と市区町村名をご記入ください)	21
問13 あなたの元々のご出身地はどちらですか。	23
問14 当地には、何か馴染みがありましたか(いくつでも)。	23
問15 当地に転居されてきた理由を教えてください(主なものいくつでも)。	24
問15 15. その他(自由記述)	26
問16 当地の住みごちは如何ですか。	27
問17 当地には長く住み続けられるおつもりですか。	27
問18 当地に來られて、「前住地より住みよい」と思われたことはありますか(いくつでも)。	28
問18 18. その他(自由記述)	29
問19 当地に來られて、「前住地より住みにくい」と思われたことはありますか(いくつでも)。	30
問19 18. その他(自由記述)	31
問20 転入してきた人に対して、自治体として何をするのがよいと思われますか(2つまで)。	32

問 20	7. その他（自由記述）	32
問 21	当地に住み続ける人が増えるためには、特に何が重要だと思われますか（2つまで）。	33
問 21	8. その他（自由記述）	34
（2）単純集計結果②転出者		35
問 1	あなたの戸籍上の性別は。	35
問 2	お年は。	35
問 3	現在（転出されたところ）での家族構成は。	36
問 4	（子どもをお持ちの方）同居されているお子さんの現況は（あてはまるもの全てに○）。	37
問 5	上山市に居住されていたときの家族構成は。	38
問 6	現在（転出されたところ）での就業の形態は次のどれにあたりますか。	39
問 6	10. その他（自由記述）	40
問 7	上山市での就業の形態は次のどれにあたりますか。	40
問 7	10. その他（自由記述）	41
問 8	現在（転出先）お住まいの住宅は。	41
問 9	上山市でお住まいだった住宅は。	41
問 10	上山市から転出された時期は。	42
問 11	転出された先の居住地は（都道府県名と市区町村名をご記入ください）。	43
問 12	あなたの元々のご出身地はどちらですか。	44
問 13	転出されたところには、何か馴染みがありましたか。	45
問 14	転出された理由を教えてください（主なもののいくつでも）。	46
問 14	15. その他（自由記述）	47
問 15	転出先の住みごこちは如何ですか。	48
問 16	転出先では長く住み続けられるおつもりですか。	48
問 17	転出前の上山市に比べて、当地の方が住みよいと思われたことはありますか（いくつでも）。	49
問 17	18. その他（自由記述）	51
問 18	転出前の上山市に比べて、当地の方が住みにくいと思われたことはありますか（いくつでも）。	51
問 18	18. その他（自由記述）	53
問 19	転入してきた人に対して、自治体として何をするのがよいと思われますか（2つまで）。	53
問 19	7. その他（自由記述）	54
問 20	地方都市に住み続ける人が増えるためには、特に何が重要だと思われますか（2つまで）。	54
問 20	8. その他（自由記述）	55
（3）転入者と転出者の比較		55
戸籍上の性別の違い		55
年齢の違い		56
現在の家族構成の違い		57
同居する子どもの現況の違い（子どもをお持ちの場合）		58

現在の就業形態の違い	59
転入/転出前の就業形態の違い	60
現在のお住まいの住宅の違い	61
転入/転出前のお住まいの住宅の違い	62
元々の出身地の違い	63
転入先/転出先への馴染みの有無の違い	63
転入/転出理由の違い	65
転入先/転出先の住みごこの違い	66
転入先/転出先での定住意向の違い	67
転入先/転出先が「前住地より住みよい」と思われたことは（いくつでも）	67
転入先/転出先が「前住地より住みにくい」と思われたこと	69
転入者に対する自治体の支援希望の違い	71
地方都市への定住促進に重要だと思うことの違い	72
（４）転入/転出先の比較	73

1. 調査要領

(1) 調査の概要

本調査は、令和2年6月から令和6年6月の間に上山市に転入してきた人、上山市から転出した人を対象にアンケート調査として実施した。

調査の結果、269件の回答が得られた。

調査の実施要領、調査票の設問構成、属性別回答者数は以下の表に示す通りである。

■調査種別と調査要領

調査種別	地方移住の希望に関する意識調査
調査目的	他地域からの転入者、他地域への転出者の意識、実態を分析し、転入を促進、転出を抑止する方策を探る
調査対象	令和2年6月から令和6年6月の間に転入及び転出した18歳以上の人 1,000名（転入者500人、転出者500人） ※令和6年4月1日現在で18才以上
調査時期	令和6年7月24日（水）～8月16日（金）
調査方法	郵送による配布・回収
回答方法	・調査票への記入による回答 ・ウェブ上のオンライン回答フォームへの入力による回答
有効サンプル数と回収率	有効サンプル総数（転入者、転出者計）：269件（26.9%） [内訳] ・調査票による回答：202件（20.2%） ・オンラインフォームによる回答：147件（14.7%） ① 転入者有効サンプル総数：163件（32.6%） [内訳] ・調査票による回答：96件（19.2%） ・オンラインフォームによる回答：67件（13.4%） ② 転出者有効サンプル総数：106件（21.2%） [内訳] ・調査票による回答：55件（11.0%） ・オンラインフォームによる回答：51件（10.2%）
調査協力機関	公益財団法人日本生産性本部

(2) 調査の項目

本調査は、下記に示す調査票を用いて行った。

① 転入者に対する意識調査

上山市に転入した人に関する意識調査（上山市）

本市では、第8次上山市振興計画に基づき、現在、子育て環境や教育環境の充実、就業環境の充実、地域資源を活用した交流人口の拡大など、横断的に各施策に取り組んでおります。つきましては、以前お住まいだった場所と本市を比べることができる皆様より、本市に対するお考えをお聞きしたく存じますので、ご協力をお願いいたします。

本アンケートは、こうした趣旨のもと実施させていただくもので、それ以外の用途に使用することは決してなく、また、個人を特定できるような集計を行うことも絶対にいたしません。ご面倒をおかけいたしますが、なにとぞご協力いただきますようお願い申し上げます。

■以下の各設問について、あてはまる選択肢の番号に○をしてください。※所要時間は5分程度です。

問1 あなたの戸籍上の性別は。

1. 男性 2. 女性

問2 お年は。

1. 20才未満 2. 20～24才 3. 25～29才 4. 30～34才 5. 35～39才 6. 40～44才 7. 45～49才 8. 50～54才 9. 55～59才 10. 60～64才 11. 65～69才 12. 70才以上

問3 当地での家族構成は。

1. 単身 3. 自分と子ども 5. 夫婦二人 7. 夫婦と子ども
2. 自分と親 4. 自分と子どもと親 6. 夫婦と親 8. 夫婦と子どもと親

問4 （子どもをお持ちの方）同居されているお子さんの現況は（あてはまるもの全てに○）。

1. 就学前 2. 小学生 3. 中学生 4. 高校生 5. 大学生 6. 社会人
7. 高専・専門学校

問5 ここに転入される前の居住地での家族構成は。

1. 単身 3. 自分と子ども 5. 夫婦二人 7. 夫婦と子ども
2. 自分と親 4. 自分と子どもと親 6. 夫婦と親 8. 夫婦と子どもと親

問6 当地での就業の形態は次のどれにあたりますか。

1. 正規雇用の社員・職員 6. パート・アルバイト
2. 派遣・契約・嘱託の社員・職員 7. 家事専業
3. 商工農林畜産自営業及び家族従業者 8. 学生
4. 独立した職人・運転手など技能専門職 9. 無職
5. 開業医・弁護士・作家など自由業 10. その他()

問7 通勤先や通学先はどちらですか。市外の方は市町村名もご記入ください。

1. 上山市内 2. 山形県内() 3. 東北地方()

問8 ここに転入される前の居住地での就業の形態は次のどれにあたりますか。

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 正規雇用の社員・職員 | 6. パート・アルバイト |
| 2. 派遣・契約・嘱託の社員・職員 | 7. 家事専業 |
| 3. 商工農林畜産自営業及び家族従業者 | 8. 学生 |
| 4. 独立した職人・運転手など技能専門職 | 9. 無職 |
| 5. 開業医・弁護士・作家など自由業 | 10. その他() |

問9 当地でお住まいの住宅は。

1. 自分の持ち家 2. 賃貸住宅 3. 親・親戚の家 4. 社宅・官舎・寮 5. その他

問10 当地に転入される前の居住地でお住まいだった住宅は。

1. 自分の持ち家 2. 賃貸住宅 3. 親・親戚の家 4. 社宅・官舎・寮 5. その他

問11 当地に転入された時期は。

1. 今年になってから 2. 昨年 3. 一昨年かそれ以上前

問12 当地に転入される前の居住地は(都道府県名と市区町村名をご記入ください)。

都道府県

市町村

区

問13 あなたの元々のご出身地はどちらですか。

1. 上山市 2. 上山市以外の山形県 3. 東北地方 4. その他の地域

問14 当地には、何か馴染みがありましたか(いくつでも)。

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 特に馴染みはなかった | 7. 友人・知人が居住 |
| 2. 元々当地(近隣)の出身 | 8. 職場の支社・支店があった |
| 3. 親が居住(夫または妻の実家) | 9. 仕事で来たことがある |
| 4. 兄弟姉妹が居住 | 10. 観光やレジャーで来たことがある |
| 5. 祖父や祖母が居住 | 11. ホームページなどの情報で知っていた |
| 6. その他の親戚が居住 | 12. その他 |

問15 当地に転居されてきた理由を教えてください(主なものいくつでも)。

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 転勤で | 9. 自分が当地の学校に入学したから |
| 2. 転職、再就職で | 10. 子どもが当地の学校に入学したから |
| 3. 新卒後の就職で | 11. 親との同居・近居のため |
| 4. 退職で | 12. 前住地の住宅事情が悪かったから |
| 5. こちらの人と結婚したため | 13. 前住地は生活するのに不便だったから |
| 6. 田舎暮らしをしたくて | 14. 前住地の生活環境が悪かったから |
| 7. 農業など自立した職業をしたくて | 15. その他 |
| 8. 仕事に適した地域に住みたくて | () |

問16 当地の住みごこちはいかがですか。

1. 非常に住みよい 2. まあ住みよい 3. 普通 4. やや住みにくい 5. 非常に住みにくい

問17 当地には長く住み続けられるおつもりですか。

1. 永住しようと思っている 3. 転勤や結婚などでどうなるかわからない
2. できれば永住しようと思っている 4. できればほかに移りたいと思っている
5. あまり考えたことがない

問18 当地に来られて、「前住地より住みよい」と思われたことはありますか(いくつでも)。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 多様な仕事の間がある | 11. 市内交通の便がよい |
| 2. 安定した仕事の間がある | 12. 大都市への交通の便がよい |
| 3. 買い物など日常生活が便利 | 13. 道路などの都市基盤が整備されている |
| 4. 物価が安い | 14. 街が安全 |
| 5. 空気や水、食べ物が美味しい | 15. 街が清潔 |
| 6. 住宅条件(価格、家賃、広さなど)がよい | 16. 街に自然が多く美しい |
| 7. 保育所など子育て環境がよい | 17. 周りの人が親切 |
| 8. 高校までの教育環境がよい | 18. その他() |
| 9. 病院など医療環境がよい | |
| 10. 障害者や高齢者の福祉の環境がよい | 19. 特に住みよいと思ったことはない |

問19 当地に来られて、「前住地より住みにくい」と思われたことはありますか(いくつでも)。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 多様な仕事の間がない | 11. 市内交通の便がよくない |
| 2. 安定した仕事の間が少ない | 12. 大都市への交通の便がよくない |
| 3. 買い物など日常生活が不便 | 13. 道路などの都市基盤が未整備 |
| 4. 物価が高い | 14. 街の安全性に欠ける |
| 5. 空気や水、食べ物が美味しくない | 15. 街がよごれている |
| 6. 住宅条件(価格、家賃、広さなど)が悪い | 16. 街の自然が少ない |
| 7. 保育所など子育て環境がよくない | 17. 周りの人がやや不親切 |
| 8. 高校までの教育環境がよくない | 18. その他() |
| 9. 病院など医療環境がよくない | |
| 10. 障害者や高齢者の福祉の環境がよくない | 19. 特に住みにくいと思ったことはない |

問20 転入してきた人に対して、自治体として何をするのがよいと思われますか(2つまで)。

1. 適切な仕事の間を得られるよう支援すること 7. その他
2. 適切な住宅を得られるよう支援すること
3. 子育てや子どもの教育に対して支援すること
4. 高齢者や障害者に対して支援すること
5. 近隣との生活がうまくいくよう支援すること
6. 支援の種類や内容を分かりやすく教えてくれること

問21 当地に住み続ける人が増えるためには、特に何が重要だと思われますか(2つまで)。

1. 安心して働ける仕事の間があること 5. 高齢者や障害者への福祉環境がよいこと
2. 適切な住宅に住めること 6. 医療環境が整っていること
3. 日常生活の便がよいこと 7. 街や田舎暮らしの良さのPR
4. 子育てや教育環境がよいこと 8. その他()

* アンケートはこれで終わりです。ご協力いただき誠にありがとうございました。

② 転出者に対する意識調査

上山市から転出した人に関する意識調査（上山市）

本市では、第8次上山市振興計画に基づき、現在、子育て環境や教育環境の充実、就業環境の充実、地域資源を活用した交流人口の拡大など、横断的に各施策に取り組んでおります。つきましては、現在お住まいの環境と本市を比べることができる状況にある皆様に、本市に対するお考えをお聞きしたく存じますので、ご協力をお願いいたします。

本アンケートは、こうした趣旨のもと実施させていただくもので、それ以外の用途に使用することは決してなく、また、個人を特定できるような集計を行うことも絶対にいたしません。ご面倒をおかけいたしますが、なにとぞ協力いただきますようお願い申し上げます。

■以下の各設問について、あてはまる選択肢の番号に○をしてください。※所要時間は5分程度です。

問1 あなたの戸籍上の性別は。

1. 男性 2. 女性

問2 お年は。

1. 20才未満 2. 20～24才 3. 25～29才 4. 30～34才 5. 35～39才 6. 40～44才 7. 45～49才 8. 50～54才 9. 55～59才 10. 60～64才 11. 65～69才 12. 70才以上

問3 現在（転出されたところ）での家族構成は。

1. 単身 3. 自分と子ども 5. 夫婦二人 7. 夫婦と子ども
2. 自分と親 4. 自分と子どもと親 6. 夫婦と親 8. 夫婦と子どもと親

問4 （子どもをお持ちの方）同居されているお子さんの現況は（あてはまるもの全てに○）。

1. 就学前 2. 小学生 3. 中学生 4. 高校生 5. 大学生 6. 社会人
7. 高専・専門学校

問5 上山市に居住されていたときの家族構成は。

1. 単身 3. 自分と子ども 5. 夫婦二人 7. 夫婦と子ども
2. 自分と親 4. 自分と子どもと親 6. 夫婦と親 8. 夫婦と子どもと親

問6 現在（転出されたところ）での就業の形態は次のどれにあたりますか。

1. 正規雇用の社員・職員 6. パート・アルバイト
2. 派遣・契約・嘱託の社員・職員 7. 家事専業
3. 商工農林畜産自営業及び家族従業者 8. 学生
4. 独立した職人・運転手など技能専門職 9. 無職
5. 開業医・弁護士・作家など自由業 10. その他（ ）

問7 上山市での就業の形態は次のどれにあたりますか。

1. 正規雇用の社員・職員 6. パート・アルバイト
2. 派遣・契約・嘱託の社員・職員 7. 家事専業
3. 商工農林畜産自営業及び家族従業者 8. 学生
4. 独立した職人・運転手など技能専門職 9. 無職
5. 開業医・弁護士・作家など自由業 10. その他（ ）

問8 現在(転出先)お住まいの住宅は。

1. 自分の持ち家 2. 賃貸住宅 3. 親・親戚の家 4. 社宅・官舎・寮 5. その他

問9 上山市でお住まいだった住宅は。

1. 自分の持ち家 2. 賃貸住宅 3. 親・親戚の家 4. 社宅・官舎・寮 5. その他

問10 上山市から転出された時期は。

1. 今年になってから 2. 昨年 3. 一昨年からそれ以上前

問11 転出された先の居住地は(都道府県名と市区町村名をご記入ください)。

都道府県

市町村

区

問12 あなたの元々のご出身地はどちらですか。

1. 上山市 2. 上山市以外の山形県 3. 東北地方 4. その他の地域

問13 転出されたところには、何か馴染みがありましたか。

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 特に馴染みはなかった | 7. 友人・知人が居住 |
| 2. 元々当地(近隣)の出身 | 8. 職場の支社・支店があった |
| 3. 親が居住(夫または妻の実家) | 9. 仕事で来たことがある |
| 4. 兄弟姉妹が居住 | 10. 観光やレジャーで来たことがある |
| 5. 祖父や祖母が居住 | 11. ホームページなどの情報で知っていた |
| 6. その他の親戚が居住 | 12. その他 |

問14 転出された理由を教えてください(主なものをいくつか)。

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 転勤で | 9. 自分が当地の学校に入学したから |
| 2. 転職、再就職で | 10. 子どもが当地の学校に入学したから |
| 3. 新卒後の就職で | 11. 親との同居・近居のため |
| 4. 退職で | 12. 前住地の住宅事情が悪かったから |
| 5. こちらの人と結婚したため | 13. 前住地は生活するのに不便だったから |
| 6. 田舎暮らしをしたくて | 14. 前住地の生活環境が悪かったから |
| 7. 農業など自立した職業をしたくて | 15. その他 |
| 8. 仕事に適した地域に住みたくて | () |

問15 転出先の住みごころちはいかがですか。

1. 非常に住みよい 2. まあ住みよい 3. 普通 4. やや住みにくい 5. 非常に住みにくい

問16 転出先では長く住み続けられるおつもりですか。

1. 永住しようと思っている
2. できれば永住しようと思っている
3. 転勤や結婚などでどうなるかわからない
4. できればほかに移りたいと思っている
5. あまり考えたことがない

問17 転出前の上山市に比べて、当地の方が住みよいと思われたことはありますか(いくつでも)。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 多様な仕事のある場がある | 11. 市内交通の便がよい |
| 2. 安定した仕事のある場がある | 12. 大都市への交通の便がよい |
| 3. 買い物など日常生活が便利 | 13. 道路などの都市基盤が整備されている |
| 4. 物価が安い | 14. 街が安全 |
| 5. 空気や水、食べ物が美味しい | 15. 街が清潔 |
| 6. 住宅条件(価格、家賃、広さなど)がよい | 16. 街に自然が多く美しい |
| 7. 保育所など子育て環境がよい | 17. 周りの人が親切 |
| 8. 高校までの教育環境がよい | 18. その他() |
| 9. 病院など医療環境がよい | |
| 10. 障害者や高齢者の福祉の環境がよい | 19. 特に住みよいと思ったことはない |

問18 転出前の上山市に比べて、当地の方が住みにくいと思われたことはありますか(いくつでも)。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 多様な仕事のある場がない | 11. 市内交通の便がよい |
| 2. 安定した仕事のある場が少ない | 12. 大都市への交通の便がよい |
| 3. 買い物など日常生活が不便 | 13. 道路などの都市基盤が未整備 |
| 4. 物価が高い | 14. 街の安全性に欠ける |
| 5. 空気や水、食べ物が美味しくない | 15. 街がよごれている |
| 6. 住宅条件(価格、家賃、広さなど)が悪い | 16. 街の自然が少ない |
| 7. 保育所など子育て環境がよい | 17. 周りの人がやや不親切 |
| 8. 高校までの教育環境がよい | 18. その他() |
| 9. 病院など医療環境がよい | |
| 10. 障害者や高齢者の福祉の環境がよい | 19. 特に住みにくいと思ったことはない |

問19 転入してきた人に対して、自治体として何をするのがよいと思われますか(2つまで)。

- | | |
|----------------------------|---|
| 1. 適切な仕事を得られるよう支援すること | 7. その他 |
| 2. 適切な住宅を得られるよう支援すること | <div style="border: 1px dashed black; width: 150px; height: 50px; margin: 10px 0;"></div> |
| 3. 子育てや子どもの教育に対して支援すること | |
| 4. 高齢者や障害者に対して支援すること | |
| 5. 近隣との生活がうまくいくよう支援すること | |
| 6. 支援の種類や内容を分かりやすく教えてくれること | |

問20 地方都市に住み続ける人が増えるためには、特に何が重要だと思われますか(2つまで)。

1. 安心して働ける仕事があること
2. 適切な住宅に住めること
3. 日常生活の便がよいこと
4. 子育てや教育環境がよいこと
5. 高齢者や障害者への福祉環境がよいこと
6. 医療環境が整っていること
7. 街や田舎暮らしの良さをPR

8. その他



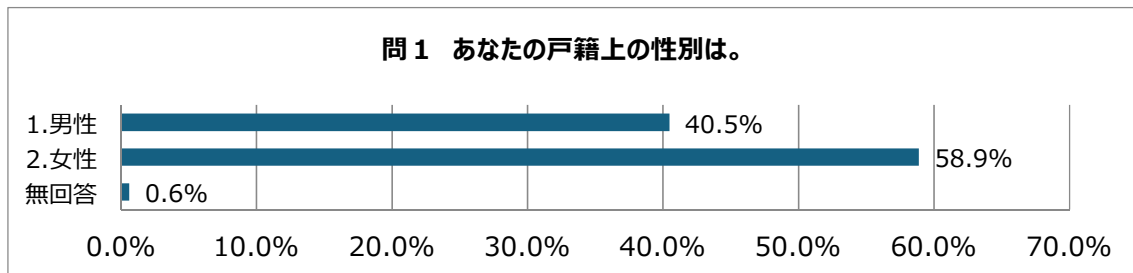
* アンケートはこれで終わりです。ご協力いただき誠にありがとうございました。

2. 調査結果

(1) 単純集計結果①転入者

問1 あなたの戸籍上の性別は。

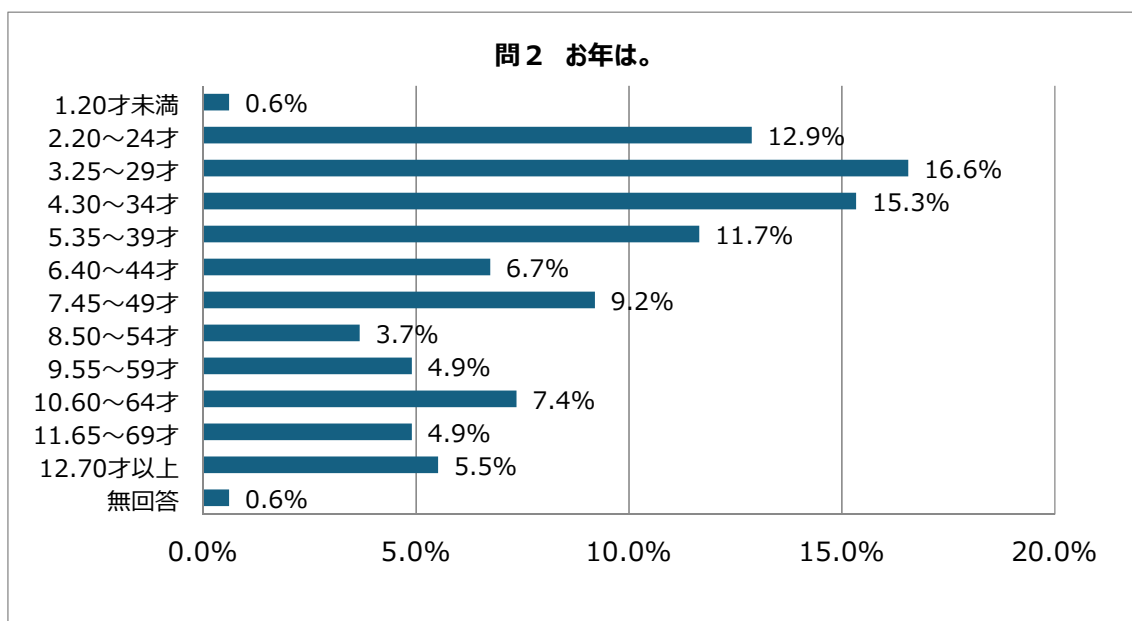
「女性」が最も多く、96名で全体の58.9%を占めている。次に多いのは「男性」で、66名の40.5%である。



項 目	回答数	%
1. 男性	66	40. 5%
2. 女性	96	58. 9%
無回答	1	0. 6%
小 計	163	100. 0%

問2 お年は。

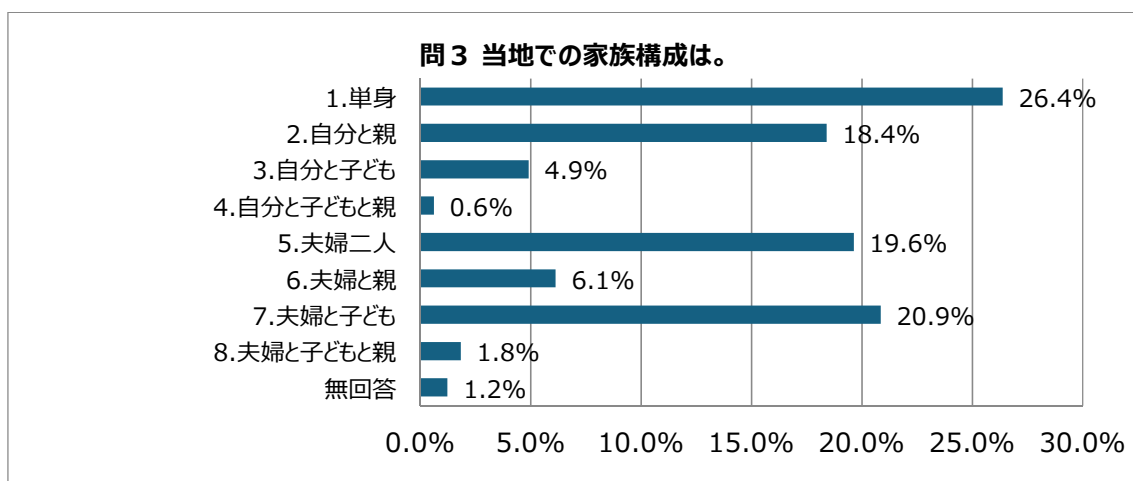
「女性」が最も多く、96名で全体の58.9%を占めている。次に多いのは「男性」で、66名の40.5%である。



項 目	回答数	%
1. 20 才未満	1	0. 6%
2. 20～24 才	21	12. 9%
3. 25～29 才	27	16. 6%
4. 30～34 才	25	15. 3%
5. 35～39 才	19	11. 7%
6. 40～44 才	11	6. 7%
7. 45～49 才	15	9. 2%
8. 50～54 才	6	3. 7%
9. 55～59 才	8	4. 9%
10. 60～64 才	12	7. 4%
11. 65～69 才	8	4. 9%
12. 70 才以上	9	5. 5%
無回答	1	0. 6%
小 計	163	100. 0%

問3 当地での家族構成は。

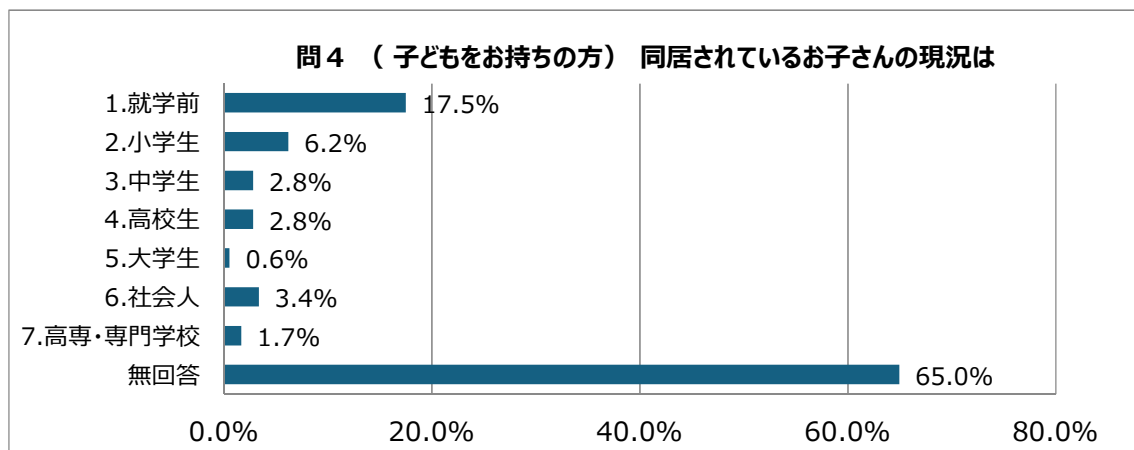
「単身」が最も多く、43名で全体の26.4%を占めている。次に多いのは「夫婦と子ども」で、34名の20.9%である。「夫婦二人」も32名で19.6%と多く、これら3つの家族構成が全体の約67%を占めていることがわかる。



項 目	回答数	%
1. 単身	43	26. 4%
2. 自分と親	30	18. 4%
3. 自分と子ども	8	4. 9%
4. 自分と子どもと親	1	0. 6%
5. 夫婦二人	32	19. 6%
6. 夫婦と親	10	6. 1%
7. 夫婦と子ども	34	20. 9%
8. 夫婦と子どもと親	3	1. 8%
無回答	2	1. 2%
小 計	163	100. 0%

問4 （子どもをお持ちの方） 同居されているお子さんの現況は（あてはまるもの全てに○）。

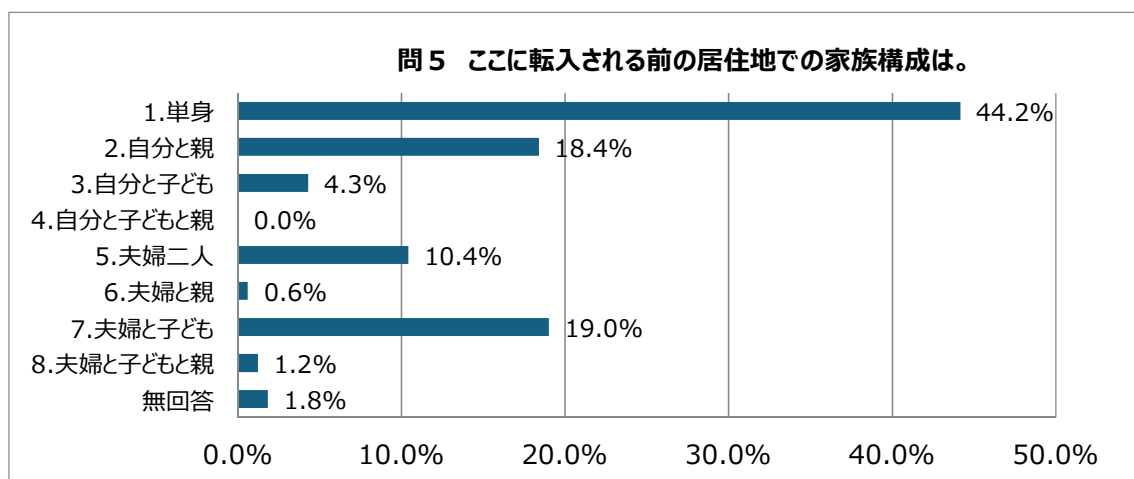
無回答が115名で全体の65.0%を占めており、子どもがいない家庭が多いことが示されている。同居しているお子さんの現況では「就学前」が31名で17.5%と最も多く、次いで「小学生」が11名で6.2%である。



項 目	回答数	%
1. 就学前	31	17. 5%
2. 小学生	11	6. 2%
3. 中学生	5	2. 8%
4. 高校生	5	2. 8%
5. 大学生	1	0. 6%
6. 社会人	6	3. 4%
7. 高専・専門学校	3	1. 7%
無回答	115	65. 0%
小 計	177	100. 0%

問5 ここに転入される前の居住地での家族構成は。

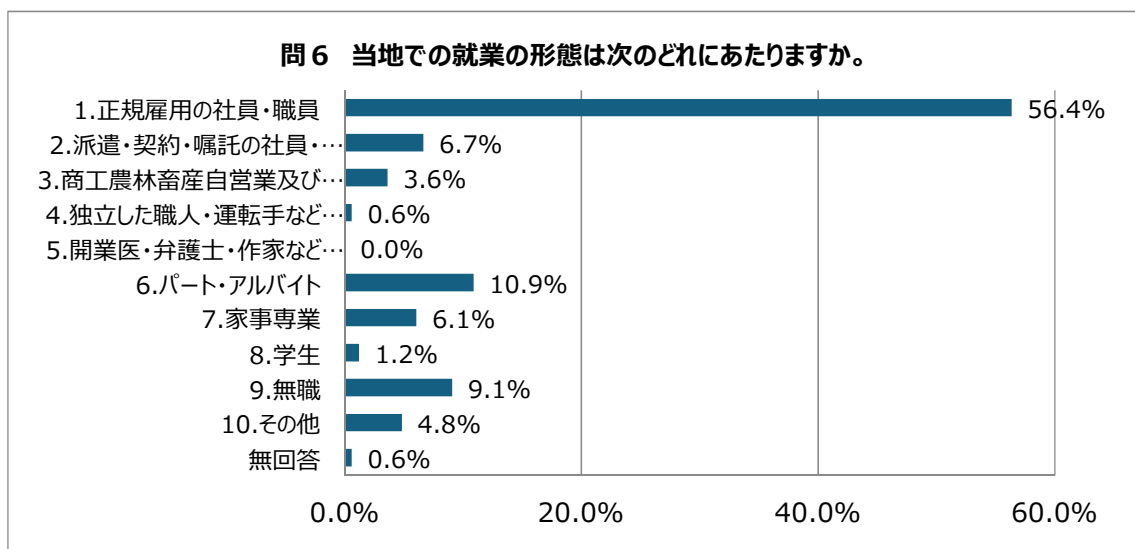
「単身」が最も多く、72名で全体の44.2%を占めている。次に多いのは「夫婦と子ども」で、31名の19.0%、「自分と親」が30名で18.4%と続く。これらの構成が全体の約82%を占めている。



項 目	回答数	%
1. 単身	72	44. 2%
2. 自分と親	30	18. 4%
3. 自分と子ども	7	4. 3%
4. 自分と子どもと親	0	0. 0%
5. 夫婦二人	17	10. 4%
6. 夫婦と親	1	0. 6%
7. 夫婦と子ども	31	19. 0%
8. 夫婦と子どもと親	2	1. 2%
無回答	3	1. 8%
小 計	163	100. 0%

問 6 当地での就業の形態は次のどれにあたりますか。

「正規雇用の社員・職員」が最も多く、93 名で全体の 56. 4%を占めている。次に「パート・アルバイト」が 18 名で 10. 9%、そして「無職」が 15 名で 9. 1%である。正規雇用者が過半数を占めていることがわかる。



項 目	回答数	%
1. 正規雇用の社員・職員	93	56. 4%
2. 派遣・契約・嘱託の社員・職員	11	6. 7%
3. 商工農林畜産自営業及び家族従業者	6	3. 6%
4. 独立した職人・運転手など技能専門職	1	0. 6%
5. 開業医・弁護士・作家など自由業	0	0. 0%
6. パート・アルバイト	18	10. 9%

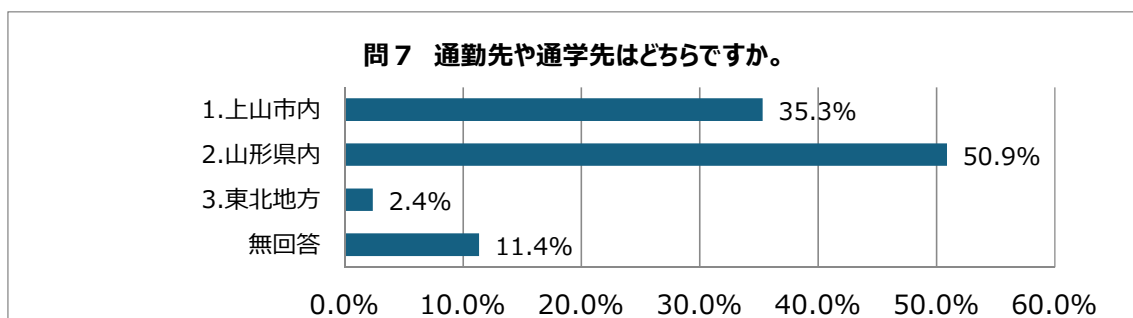
7. 家事専業	10	6.1%
8. 学生	2	1.2%
9. 無職	15	9.1%
10. その他	8	4.8%
無回答	1	0.6%
小 計	165	100.0%

問6 10. その他（自由記述）

- 自営業（同回答2件）
- 実家の手伝い
- ナシ
- 業務委託
- 伝道師（牧師）

問7 通勤先や通学先はどちらですか。市外の方は市区町村名もご記入ください。

「山形県内」が最も多く、85名で全体の50.9%を占めている。次に「上山市内」が59名で35.3%である。無回答も19名で11.4%存在している。



項 目	回答数	%
1. 上山市内	59	35.3%
2. 山形県内	85	50.9%
3. 東北地方	4	2.4%
無回答	19	11.4%
小 計	167	100.0%

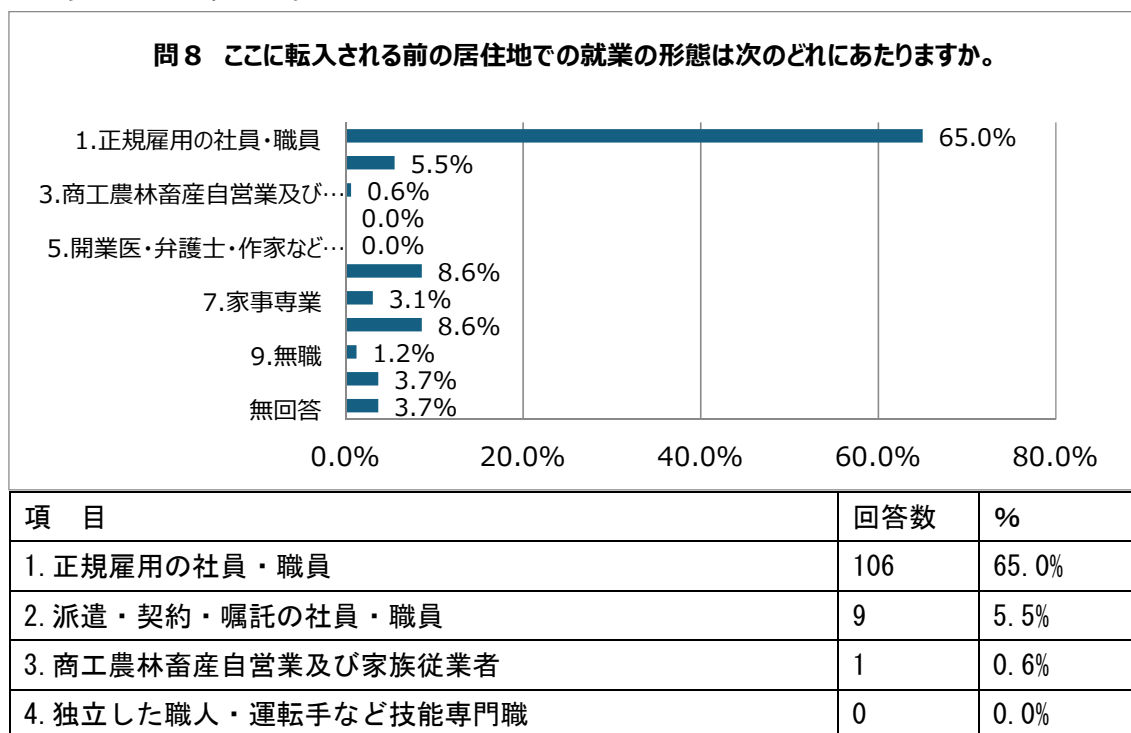
（市外の方）

※判読不能だった文字を「●」で示している。

- 山形県山形市（同回答 48 件）
- 山形県南陽市（同回答 7 件）
- 山形県米沢市（同回答 4 件）
- 山形県山形市内（同回答 3 件）
- 山形県高畠町（同回答 2 件）
- 山形県長井市（同回答 2 件）
- 山形県天童市（同回答 2 件）
- 山形県山形市若宮
- 山形県村山市
- 山形県東根市
- 山形県寒河江市
- 東京都
- 全域エリア●
- 家事専門なので通勤も通学もしていません。必須だったので仕方なく 3 につけました

問 8 ここに転入される前の居住地での就業の形態は次のどれにあたりますか。

「正規雇用の社員・職員」が最も多く、106 名で全体の 65.0%を占めている。次に「パート・アルバイト」が 14 名で 8.6%、「学生」も同じく 14 名で 8.6%と続く。正規雇用者が圧倒的に多いことがわかる。



5. 開業医・弁護士・作家など自由業	0	0.0%
6. パート・アルバイト	14	8.6%
7. 家事専業	5	3.1%
8. 学生	14	8.6%
9. 無職	2	1.2%
10. その他	6	3.7%
無回答	6	3.7%
小 計	163	100.0%

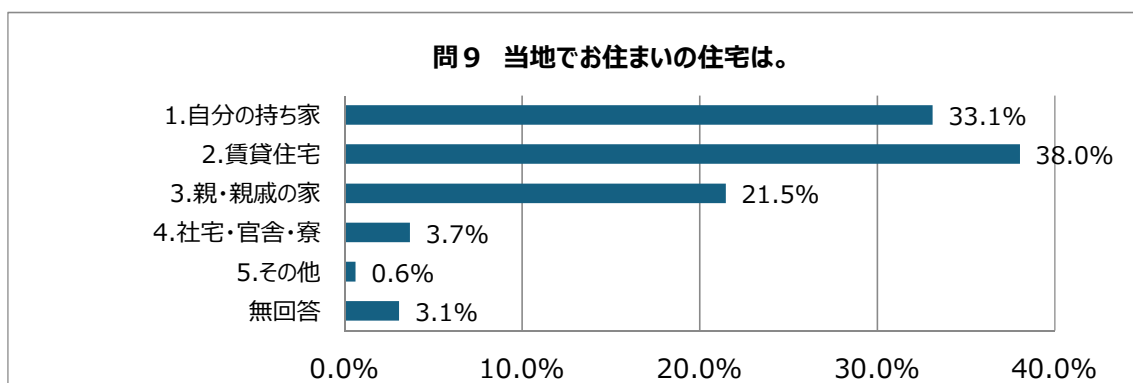
問8 10. その他（自由記述）

※判読不能だった文字を「●」で示している。

- 不動産関係のアドバイザー及び体験農園のアドバイザー
- 自営業
- 飲食自営業
- ●+夜間●
- 自営(法人)

問9 当地でお住まいの住宅は。

「賃貸住宅」が最も多く、62名で全体の38.0%を占めている。次に「自分の持ち家」が54名で33.1%、そして「親・親戚の家」が35名で21.5%である。賃貸住宅と持ち家が多くを占めている。

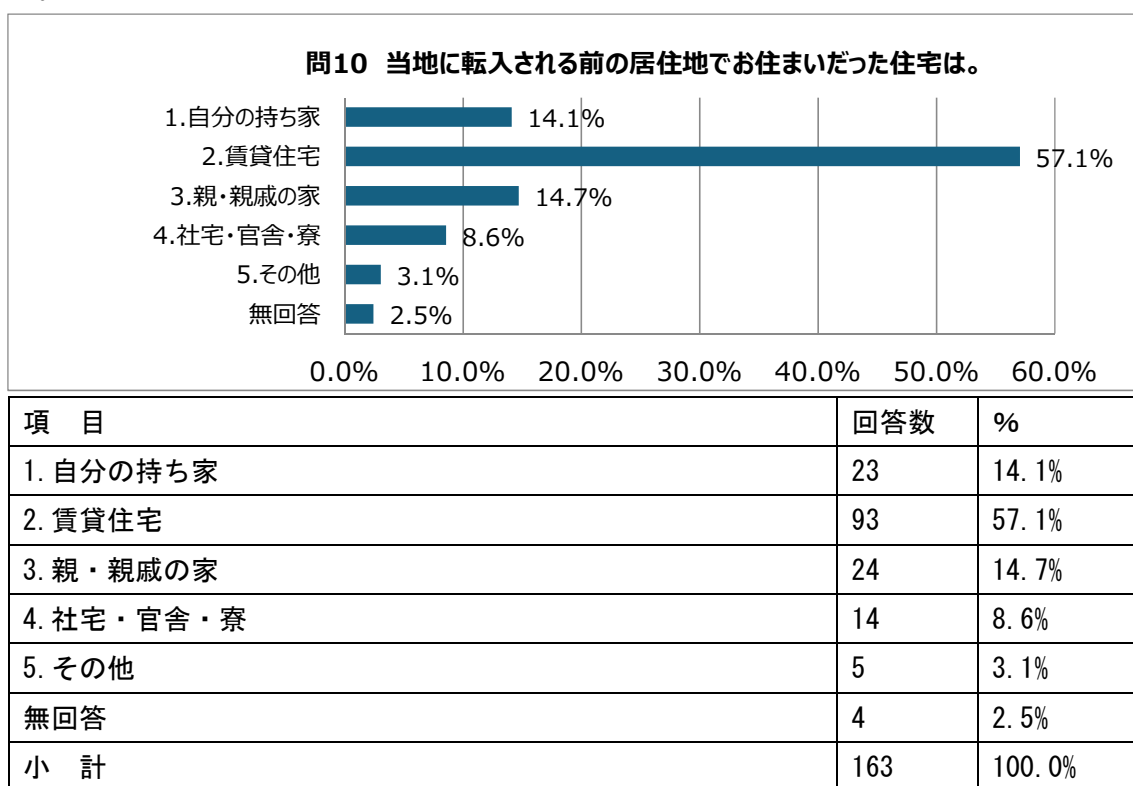


項 目	回答数	%
1. 自分の持ち家	54	33.1%
2. 賃貸住宅	62	38.0%
3. 親・親戚の家	35	21.5%

4. 社宅・官舎・寮	6	3.7%
5. その他	1	0.6%
無回答	5	3.1%
小 計	163	100.0%

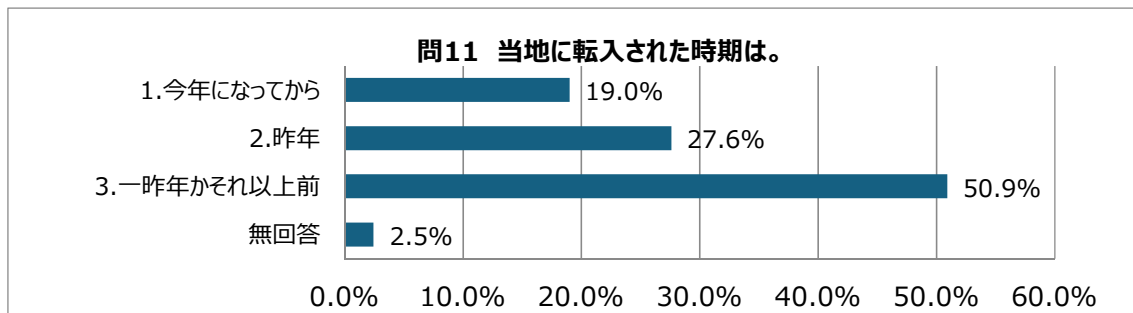
問 10 当地に転入される前の居住地でお住まいだった住宅は。

「賃貸住宅」が最も多く、93 名で全体の 57.1%を占めている。次に「親・親戚の家」が 24 名で 14.7%、そして「自分の持ち家」が 23 名で 14.1%である。賃貸住宅が多いことがわかる。



問 11 当地に転入された時期は。

「一昨年かそれ以上前」が最も多く、83 名で全体の 50.9%を占めている。次に「昨年」が 45 名で 27.6%、そして「今年になってから」が 31 名で 19.0%である。



項 目	回答数	%
1. 今年になってから	31	19. 0%
2. 昨年	45	27. 6%
3. 一昨年からそれ以上前	83	50. 9%
無回答	4	2. 5%
小 計	163	100. 0%

問 12 当地に転入される前の居住地は（都道府県名と市区町村名をご記入ください）

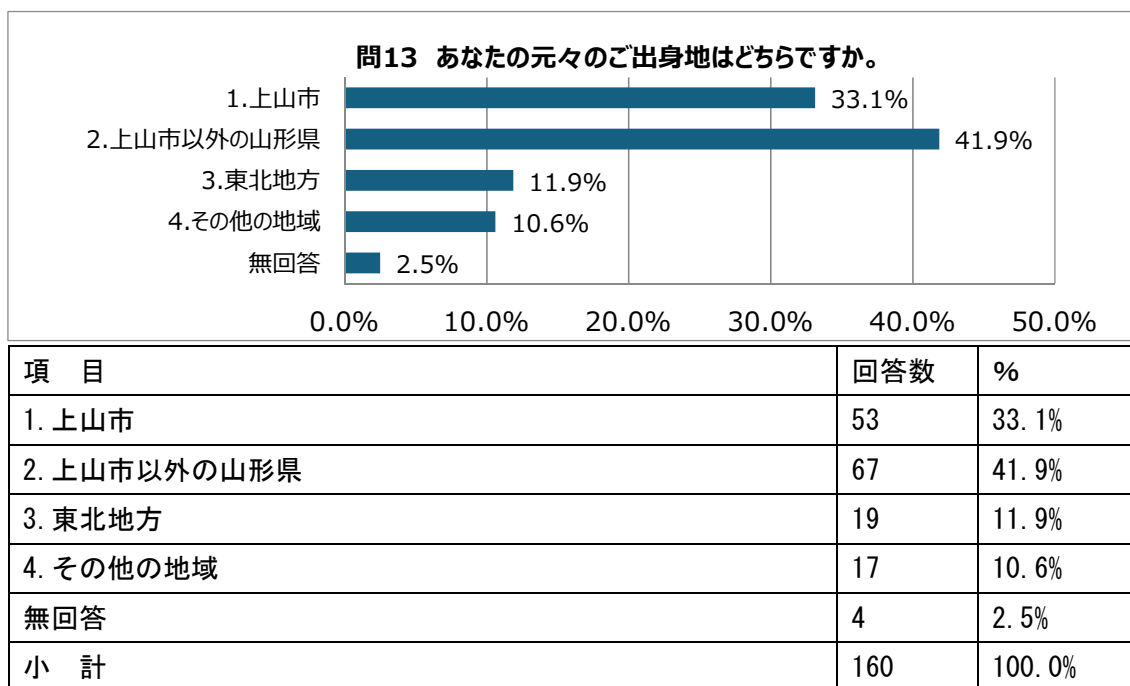
- 山形県山形市（同回答 50 件）
- 山形市（同回答 7 件）
- 山形県米沢市（同回答 7 件）
- 山形県東根市（同回答 4 件）
- 山形県寒河江市（同回答 4 件）
- 山形県南陽市（同回答 4 件）
- 宮城県仙台市青葉区（同回答 3 件）
- 宮城県仙台市太白区（同回答 2 件）
- 福島県福島市（同回答 2 件）
- 東京都新宿区（同回答 2 件）
- 山形県長井市（同回答 2 件）
- 山形県村山市（同回答 2 件）
- 山形県鶴岡市（同回答 2 件）
- 山形県高畠町（同回答 2 件）
- 山形県新庄市（同回答 2 件）
- 山形県天童市（同回答 2 件）
- 南陽市（同回答 2 件）
- 米沢市（同回答 2 件）

- 仙台（同回答 2 件）
- 福島県福島市（同回答 2 件）
- 北海道小樽市
- 埼玉県入間市中神
- 埼玉県蓮田市
- 千葉県松戸市
- 宮城県石巻市
- 愛知県
- 東京都豊島区
- 東京都墨田区
- 山形県上山市長清水
- 埼玉県越谷市
- 宮城県大崎市
- 東京都江東区
- 東京都板橋区
- 東京都足立区
- 東京都渋谷区
- 山形県川西町
- 山形県山形市南館区
- 山形県山形市馬見ヶ崎
- 宮城県塩釜市
- 山形県飯豊町
- 宮城県柴田町
- 山形県上山市
- 山形県酒田市
- 長野県松本市
- 神奈川県平塚市根坂間
- 東京都江戸川区
- 岩手県
- 埼玉県上尾市
- 神奈川県横浜市
- 埼玉県熊谷市
- 東京都小金井市
- 仙台市
- 埼玉県狭山市
- 茨城県石岡市

- 大阪府守口市
- 新潟県長岡市
- 東京都中野区
- 奈良県大和郡山市
- 千葉県八千代市
- 東京都大田区
- 青森県青森市
- 愛知県名古屋市
- 福島県会津若松市
- 福島県郡山市
- 滋賀県高島市
- 東京都武蔵野市
- 山形市内

問 13 あなたの元々のご出身地はどちらですか。

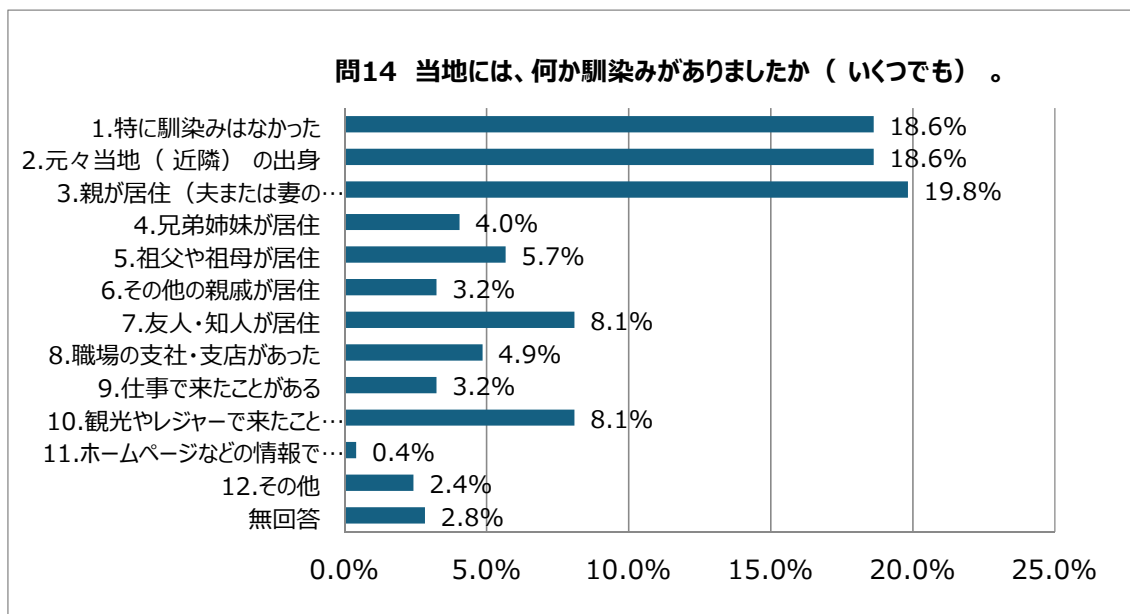
「上山市以外の山形県」が最も多く、67 名で全体の 41.9%を占めている。次に「上山市」が 53 名で 33.1%、そして「東北地方」が 19 名で 11.9%である。



問 14 当地には、何か馴染みがありましたか（いくつでも）。

「親が居住（夫または妻の実家）」が最も多く、49 名で全体の 19.8%を占めている。次に「元々当地（近隣）の出身」と「特に馴染みはなかった」がそれぞれ 46 名で 18.6%である。

これらの項目が全体の約 57%を占めており、親や地元出身者が多いことがわかる。

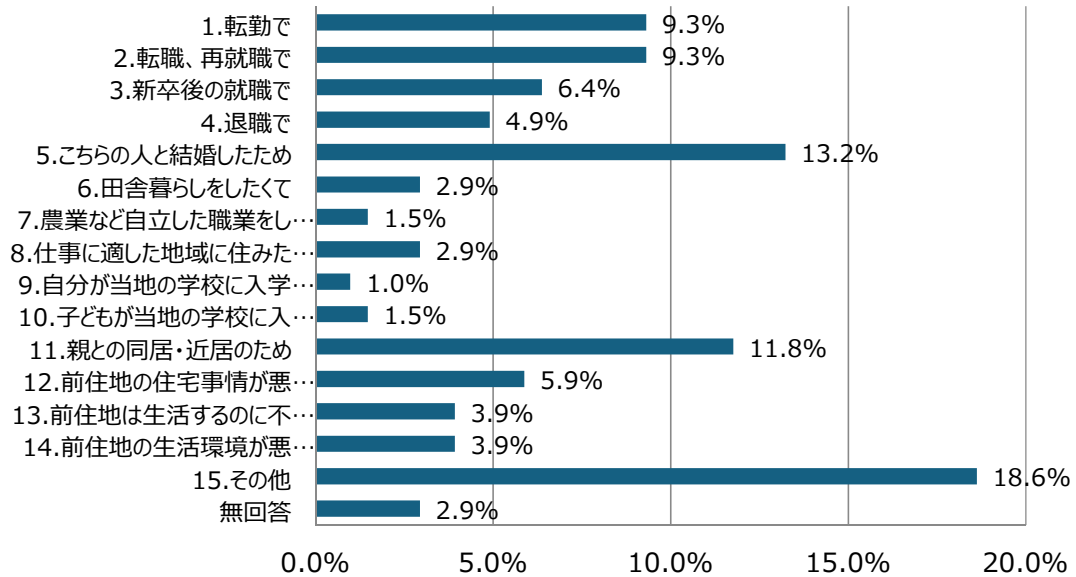


項 目	回答数	%
1. 特に馴染みはなかった	46	18. 6%
2. 元々当地（近隣）の出身	46	18. 6%
3. 親が居住（夫または妻の実家）	49	19. 8%
4. 兄弟姉妹が居住	10	4. 0%
5. 祖父や祖母が居住	14	5. 7%
6. その他の親戚が居住	8	3. 2%
7. 友人・知人が居住	20	8. 1%
8. 職場の支社・支店があった	12	4. 9%
9. 仕事で来たことがある	8	3. 2%
10. 観光やレジャーで来たことがある	20	8. 1%
11. ホームページなどの情報で知っていた	1	0. 4%
12. その他	6	2. 4%
無回答	7	2. 8%
小 計	247	100. 0%

問 15 当地に転居されてきた理由を教えてください（主なものをいくつかでも）。

「その他」が最も多く、38 名で全体の 18. 6%を占めている。次に「こちらの人と結婚したため」が 27 名で 13. 2%、「親との同居・近居のため」が 24 名で 11. 8%である。結婚や親との同居が主な理由となっている。

問15 当地に転居されてきた理由を教えてください（主なもののいくつか）。



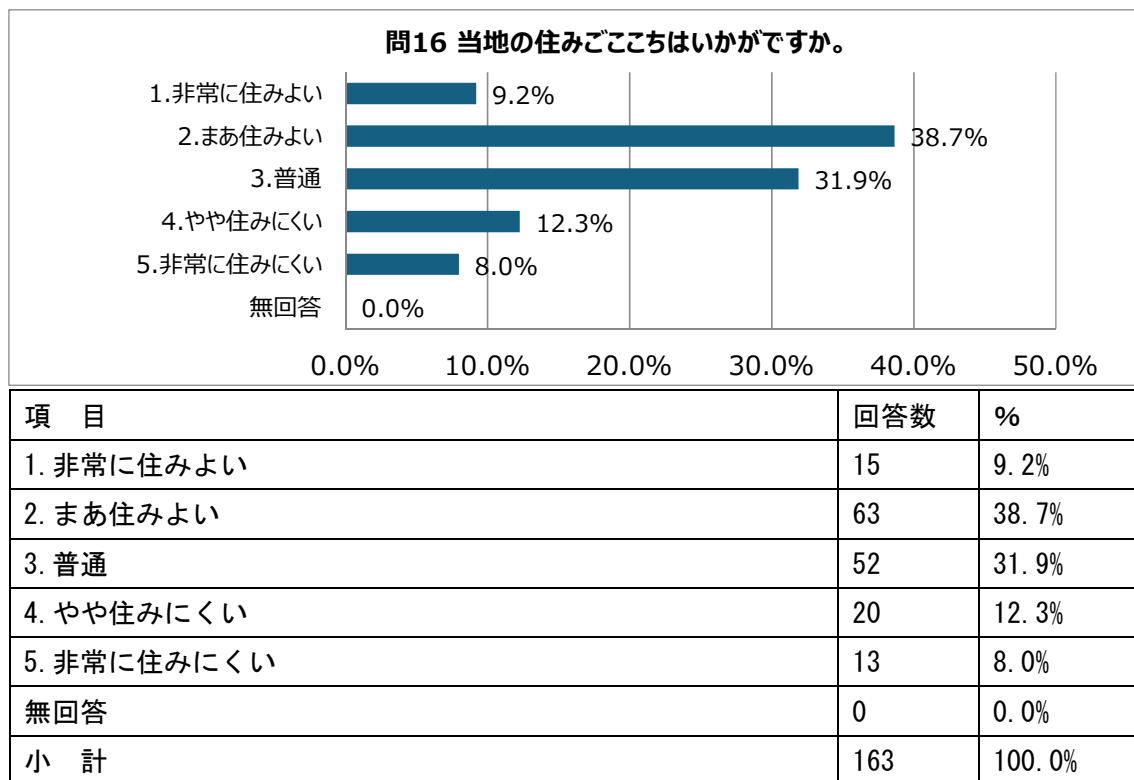
項 目	回答数	%
1. 転勤で	19	9. 3%
2. 転職、再就職で	19	9. 3%
3. 新卒後の就職で	13	6. 4%
4. 退職で	10	4. 9%
5. こちらの人と結婚したため	27	13. 2%
6. 田舎暮らしをしたくて	6	2. 9%
7. 農業など自立した職業をしたくて	3	1. 5%
8. 仕事に適した地域に住みたくて	6	2. 9%
9. 自分が当地の学校に入学したから	2	1. 0%
10. 子どもが当地の学校に入学したから	3	1. 5%
11. 親との同居・近居のため	24	11. 8%
12. 前住地の住宅事情が悪かったから	12	5. 9%
13. 前住地は生活するのに不便だったから	8	3. 9%
14. 前住地の生活環境が悪かったから	8	3. 9%
15. その他	38	18. 6%
無回答	6	2. 9%
小 計	204	100. 0%

問 15 15. その他（自由記述）

- 仕事の都合で
- 主人の職場が上山だったから
- 子どもの育児と将来の為
- 自然が沢山あり通勤も不便では無かった為。
- 雪がすくないため
- 祖父、祖母の家が空家になっていて、そこに入居した。
- 母親に不都合が生じたため
- 夫の転職、子どもの保育預かり～就学を見込して
- 離婚して実家へもどってきた。
- 実娘の近くの場所
- 子育てを地元でしたかったから。
- コロナでお店を閉めた為
- 子どもの幼稚園入園のため
- みはらしの丘が魅力的で
- 子供の通院の為
- 家庭菜園するため戻って来ましたが「さる」が来てみんな持てかれました。
- 結婚のため
- 親の持ち家があったため
- コロナで両親と離れた、医療従事者と教員だったためお互いの安全のため
- 離婚
- スキーをするのに便利なため
- 新築したため
- 妊娠した為、育児等の負担を考え、夫の両親との同居を考えた
- 小さい頃住んでたから
- 実家の農業をするため
- 同居人の職場との中間だから
- 夫婦の実家が近いから
- 義祖母から住宅を譲り受けたため
- 親の介護
- 同棲のため
- こどもの学校のため
- 同棲のため
- 結婚、同居

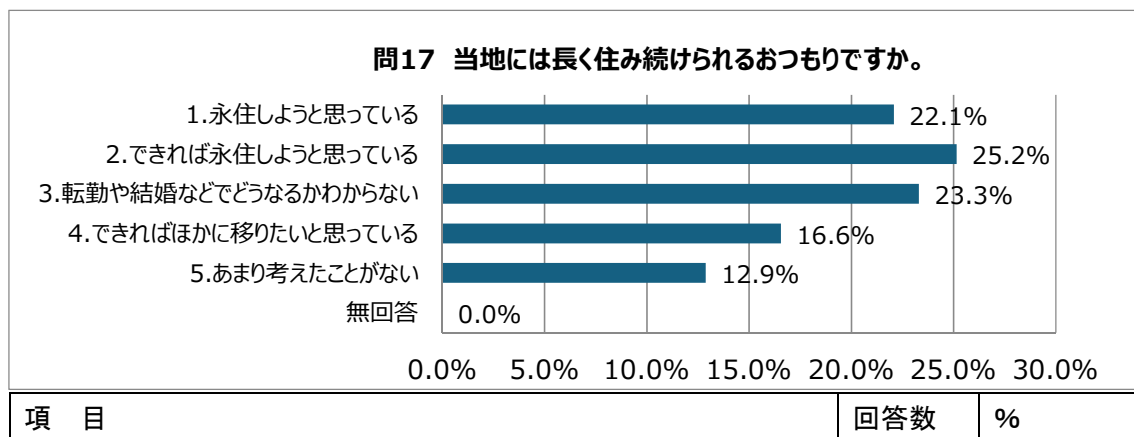
問 16 当地の住みごこちは如何ですか。

「まあ住みよい」が最も多く、63名で全体の38.7%を占めている。次に「普通」が52名で31.9%、「やや住みにくい」が20名で12.3%である。全体的に住みやすさに対する評価は概ね良好であるが、やや住みにくいと感じる人も一定数存在する。



問 17 当地には長く住み続けられるおつもりですか。

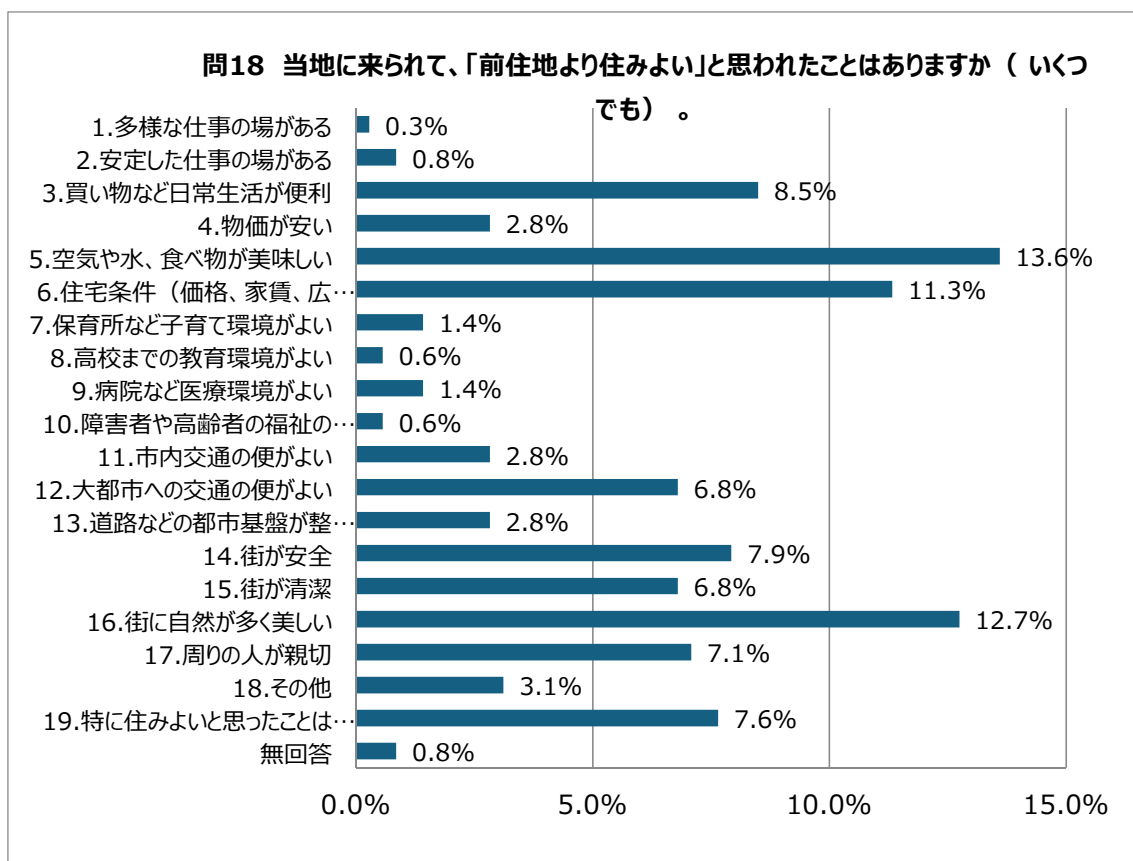
「できれば永住しようと思っている」が最も多く、41名で全体の25.2%を占めている。次に「転勤や結婚などでどうなるかわからない」が38名で23.3%、「永住しようと思っている」が36名で22.1%である。永住を希望する人が多い一方で、状況次第で変わる可能性があると考える人も多い。



1. 永住しようと思っている	36	22.1%
2. できれば永住しようと思っている	41	25.2%
3. 転勤や結婚などでどうなるかわからない	38	23.3%
4. できればほかに移りたいと思っている	27	16.6%
5. あまり考えたことがない	21	12.9%
無回答	0	0.0%
小 計	163	100.0%

問 18 当地に來られて、「前住地より住みよい」と思われたことはありますか（いくつでも）。

「空気や水、食べ物が美味しい」が最も多く、48 名で全体の 13.6%を占めている。次に「街に自然が多く美しい」が 45 名で 12.7%、「住宅条件（価格、家賃、広さなど）がよい」が 40 名で 11.3%である。自然環境や住宅条件の良さが評価されている。



項 目	回答数	%
1. 多様な仕事の間がある	1	0.3%
2. 安定した仕事の間がある	3	0.8%
3. 買い物など日常生活が便利	30	8.5%

4. 物価が安い	10	2. 8%
5. 空気や水、食べ物が美味しい	48	13. 6%
6. 住宅条件（価格、家賃、広さなど）がよい	40	11. 3%
7. 保育所など子育て環境がよい	5	1. 4%
8. 高校までの教育環境がよい	2	0. 6%
9. 病院など医療環境がよい	5	1. 4%
10. 障害者や高齢者の福祉の環境がよい	2	0. 6%
11. 市内交通の便がよい	10	2. 8%
12. 大都市への交通の便がよい	24	6. 8%
13. 道路などの都市基盤が整備されている	10	2. 8%
14. 街が安全	28	7. 9%
15. 街が清潔	24	6. 8%
16. 街に自然が多く美しい	45	12. 7%
17. 周りの人が親切	25	7. 1%
18. その他	11	3. 1%
19. 特に住みよいと思ったことはない	27	7. 6%
無回答	3	0. 8%
小 計	353	100. 0%

問 18 18. その他（自由記述）

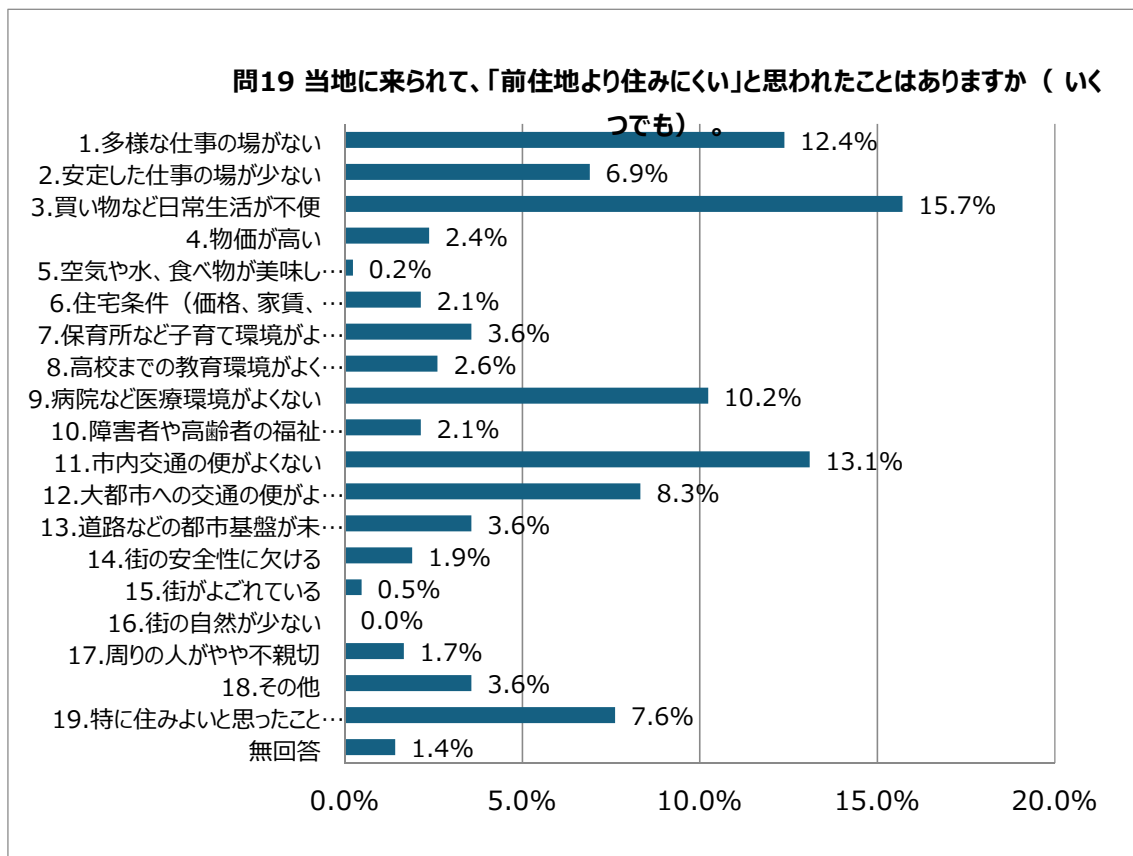
※判読不能だった文字を「●」で示している。

- ウォーキングしている人が多く、人の目を気にせずウォーキングを楽しめる。
- paypay キャンペーンや、健康ポイントがいい。
- ファミリーレストラン、回転寿し等の店がない、近くに実娘がいるので安心●と
思っていることが大きい。
- 渋滞が少ない
- 山形市内より人が少ないので、買い物や散歩等もストレスが無い
- 職場が前より近い、
- 温泉がある
- 渋滞や街の混雑が少なく落ち着いている。、
- 前住地より住みよいと思ったことはないですが、おかげさま文房具店さんがかみぶん
フェスを開催してくれて、大都市でしか会えないような作家さんやメーカーさんにお
会いできたので上山市でよかったと思いました
- 雪が少ない

● 土地の資源を大切に活用している

問 19 当地に來られて、「前住地より住みにくい」と思われたことはありますか（いくつでも）。

「買い物など日常生活が不便」が最も多く、66 名で全体の 15.7%を占めている。次に「多様な仕事の場がない」が 52 名で 12.4%、「市内交通の便がよくない」が 55 名で 13.1%である。日常生活や交通、仕事に関する不便さが指摘されている。



項 目	回答数	%
1. 多様な仕事の場がない	52	12. 4%
2. 安定した仕事の場が少ない	29	6. 9%
3. 買い物など日常生活が不便	66	15. 7%
4. 物価が高い	10	2. 4%
5. 空気や水、食べ物が美味しくない	1	0. 2%
6. 住宅条件（価格、家賃、広さなど）が悪い	9	2. 1%
7. 保育所など子育て環境がよくない	15	3. 6%
8. 高校までの教育環境がよくない	11	2. 6%
9. 病院など医療環境がよくない	43	10. 2%

10. 障害者や高齢者の福祉の環境がよくない	9	2.1%
11. 市内交通の便がよくない	55	13.1%
12. 大都市への交通の便がよくない	35	8.3%
13. 道路などの都市基盤が未整備	15	3.6%
14. 街の安全性に欠ける	8	1.9%
15. 街がよごれている	2	0.5%
16. 街の自然が少ない	0	0.0%
17. 周りの人がやや不親切	7	1.7%
18. その他	15	3.6%
19. 特に住みよいと思ったことはない	32	7.6%
無回答	6	1.4%
小 計	420	100.0%

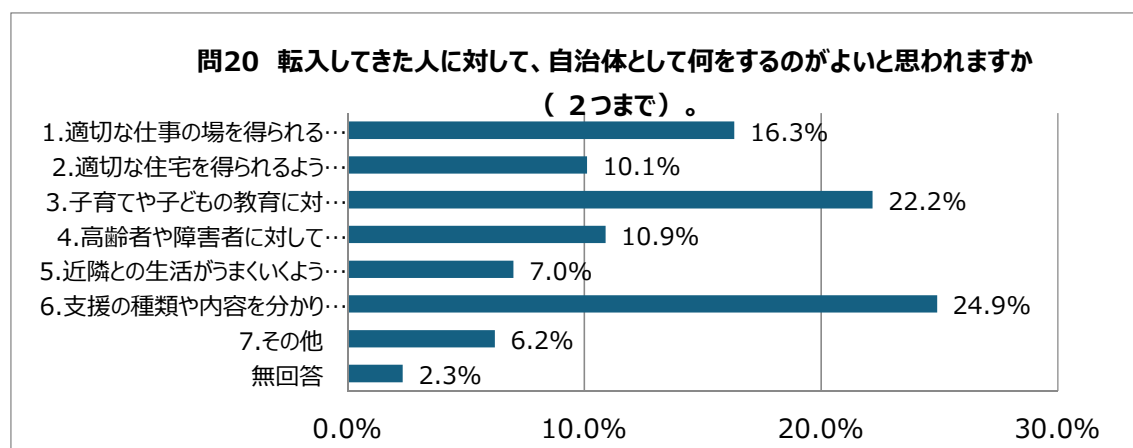
問 19 18. その他（自由記述）

※判読不能だった文字を「●」で示している。

- 店が山形より早く閉まる。チェーン店が少ない。車ありきの生活になる。病院等も少ないので山形市に基本通っている。
- サル、イノシシ、カラスの被害があり、農作物が作れない。
- 地域や自治会等の役割が多い 一番河川清掃等専門業者に有償で依頼すべきでは
- 市役所の対応の悪さ。
- 個性的な人物が多い。
- 上山に来てまだ浅いので人のつきあいがいい。
- ノラネコが多い！
- 早朝 AM6:00 の公民館の●じが負担である。
- 前地は大型スーパーライフが歩いて 4～5 分駅まで 6～7 分とすごく便が良かったので比べる事はできない。
- 茂吉記念館前駅は暗く人もまばらなので女性のひとり歩きは本当に危ない
- ファミレスなど飲食店が少ない
- 女性が仕事を探す場合、「親や家族との同居」が前提になっていると感じる(特に給与面)。女性が自分の収入のみで生活を支えていくには、仕事の選択肢は少ないと感じる。
- ガソリンが高価
- 虫が多い
- 小学校はバス通学など

問 20 転入してきた人に対して、自治体として何をするのがよいと思われますか（2つまで）。

「支援の種類や内容を分かりやすく教えてくれること」が最も多く、64名で全体の24.9%を占めている。次に「子育てや子どもの教育に対して支援すること」が57名で22.2%、「適切な仕事の間を得られるよう支援すること」が42名で16.3%である。支援内容の明確化と子育て、仕事に対する支援が求められている。



項 目	回答数	%
1. 適切な仕事の間を得られるよう支援すること	42	16. 3%
2. 適切な住宅を得られるよう支援すること	26	10. 1%
3. 子育てや子どもの教育に対して支援すること	57	22. 2%
4. 高齢者や障害者に対して支援すること	28	10. 9%
5. 近隣との生活がうまくいくよう支援すること	18	7. 0%
6. 支援の種類や内容を分かりやすく教えてくれること	64	24. 9%
7. その他	16	6. 2%
無回答	6	2. 3%
小 計	257	100. 0%

問 20 7. その他（自由記述）

※判読不能だった文字を「●」で示している。

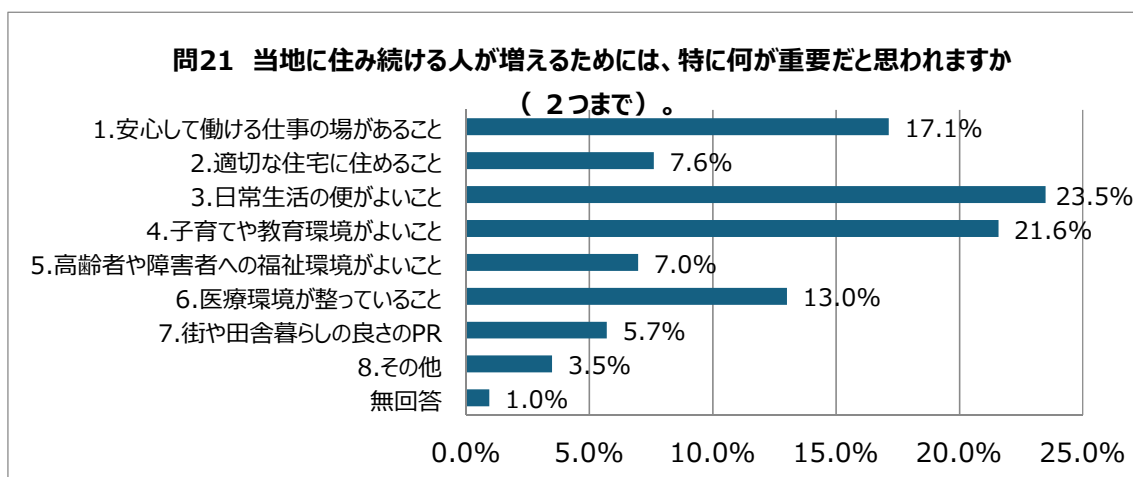
- 結婚支援金等若い人に向けての支援を多くすることが大●と思います。人が流動してばかりいて入ってくる人が少ないととても感じているので、若い人をターゲットにしてもっと●れの魅力を伝えて、お店も充実させ定住しやすい環境づくりを進めて下さい。
- 主たる産業の育成上山市の資源は何か他のまねごとではダメだと考えます。(特徴を出

すこと)

- 薬品店は多いが本や CDetc おもちゃ etc の商業施設が欲しい
- ベットタウンとしての開発、天童市のような
- 問 19 の 11 について、東、南、西、北地域の住人で、シルバー世代、の方が移動しやすい交通。
- 公共交通機関が少ないのもっと充実して欲しい。
- わからない事は、丁寧に教えてほしい。
- 魅力ある町づくり人がこないのでは消滅も時間の問題
- 世帯でみるのではなく配偶者等が別市町村から来ても支援、助成金等を受けられるようにしていただきたい。人工増を考えているのであれば低所得者だけに支援するのは不平等。
- 冬の雪かき、除雪が心配である。
- 誘致？人を呼び込みたい政策なのであれば、やはり次世代を担う子育て世代への支援で 3. ですが、世代にかかわらず、人は多様性があるものです。転入してきた人が何を求めるのか、の問いでもいいのかなと感じています。問 20、21 の解答としては、速攻性はなく、財源が必要になりますが、“文化、教育”を私は求めます。何年もの蓄積が必要ですが、お互いの多様性を認めつつ、主体性を醸成するものだと考えるからです。
- 個人の望み花壇のお花が見える部屋(施設)で最後を迎えられたら嬉しい限りでございます。
- 山形市に頼らないまちづくり、
- 自治体の特徴や様々な支援等の情報提供、
- 特になし、

問 21 当地に住み続ける人が増えるためには、特に何が重要だと思われますか(2つまで)。

「日常生活の便がよいこと」が最も多く、74 名で全体の 23.5%を占めている。次に「子育てや教育環境がよいこと」が 68 名で 21.6%、「安心して働ける仕事のあること」が 54 名で 17.1%である。日常生活の利便性と子育て・教育環境、そして安定した仕事のあることが重要とされている。



項 目	回答数	%
1. 安心して働ける仕事のあること	54	17. 1%
2. 適切な住宅に住めること	24	7. 6%
3. 日常生活の便がよいこと	74	23. 5%
4. 子育てや教育環境がよいこと	68	21. 6%
5. 高齢者や障害者への福祉環境がよいこと	22	7. 0%
6. 医療環境が整っていること	41	13. 0%
7. 街や田舎暮らしの良さの PR	18	5. 7%
8. その他	11	3. 5%
無回答	3	1. 0%
小 計	315	100. 0%

問 21 8. その他（自由記述）

※判読不能だった文字を「●」で示している。

- 若者向けの店等々を誘致
- 自治体を強制的にしない必要があります。関東圏では加入しない方が多いです。新しい風潮を取り入れて行く事が都会からの転入につながると思います。
- ファミレス、日用品購入の店チェーン店等お店を増やして日常の便が良くなると思います。
- シルバー世代が暮せるには、●世代ではなく、若年層(今の中高生)が将来も定住●また出来る●な環境づくりが求められる
- 受け入れてあげる気持ちが必要だと思う。
- 魅力ある町づくり、人、物、●
- 必要最低限の買い物しか出来ないのが夢のあるショッピングレジャー必要 夜の代行

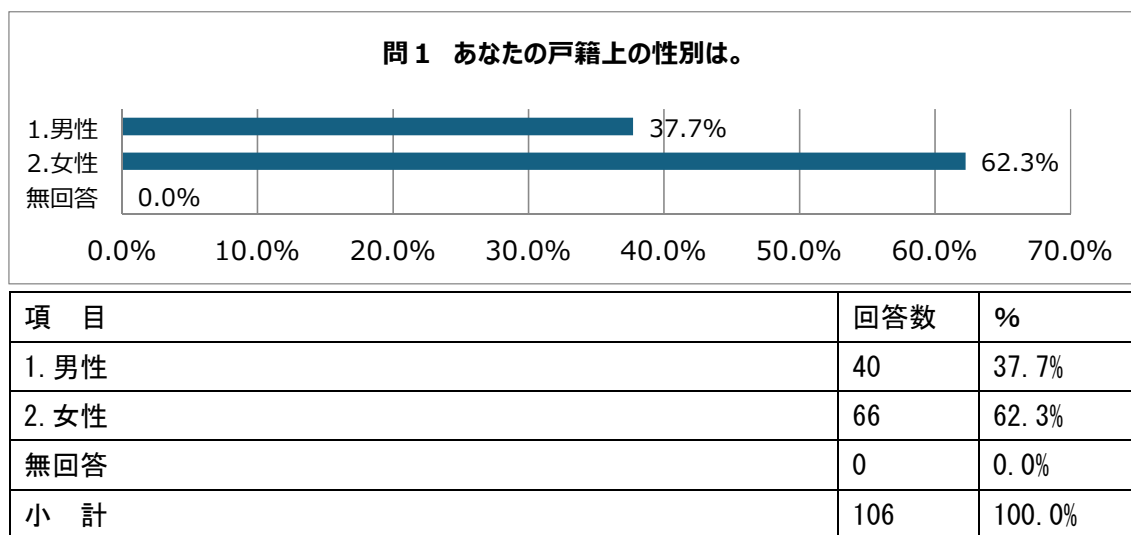
車・タクシーの数は少な過ぎる 真冬でも歩いて帰宅はありえない！！

- 誘致？人を呼び込みたい政策なのであれば、やはり次世代を担う子育て世代への支援で 3. ですが、世代にかかわらず、人は多様性があるものです。転入してきた人が何を求めるのか、の問いでもいいのかなと感じています。問 20、21 の解答としては、速攻性はなく、財源が必要になりますが、“文化、教育”を私は求めます。何年もの蓄積が必要ですが、お互いの多様性を認めつつ、主体性を醸成するものだと考えるからです。
- 交通
- もっと子供と一緒にご飯など食べれる所が欲しい
- 仕事の間があることの PR
- 飲食店(レストラン)などを増やすこと

(2) 単純集計結果②転出者

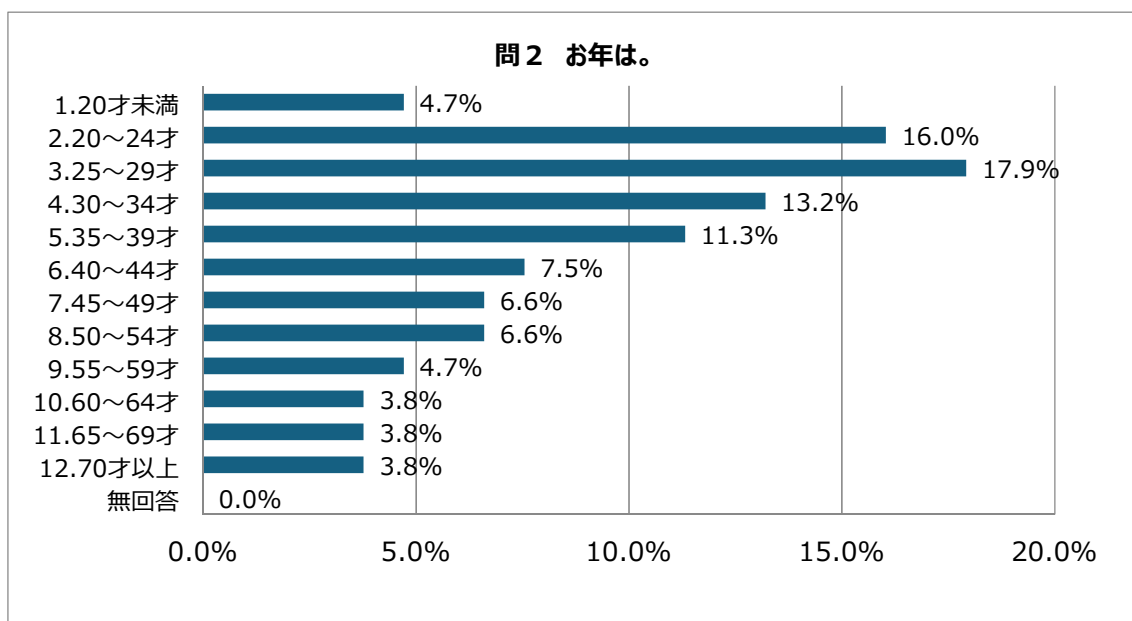
問 1 あなたの戸籍上の性別は。

回答者のうち「女性」が最も多く、全体の 62.3%を占めている。次いで「男性」が 37.7%である。無回答は 0%で、全体の回答数は 106 である。この結果から、回答者の中では女性が圧倒的に多いことがわかる。



問 2 お年は。

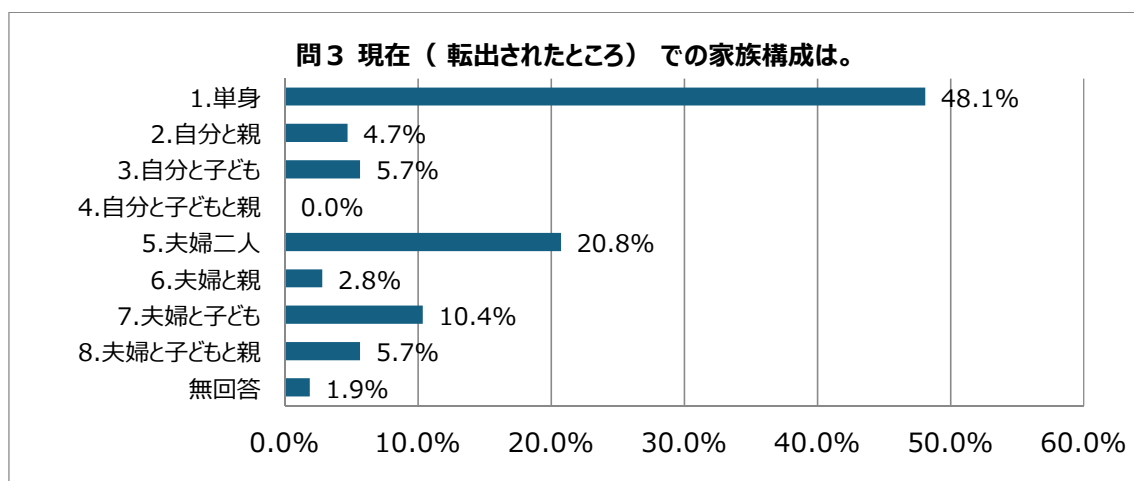
最も多かったのは「25～29 才」で、全体の 17.9%を占めている。次いで「20～24 才」が 16.0%、「30～34 才」が 13.2%である。この結果から、回答者の多くが 20 代後半から 30 代前半の年齢層に集中していることがわかる。



項 目	回答数	%
1. 20 才未満	5	4. 7%
2. 20～24 才	17	16. 0%
3. 25～29 才	19	17. 9%
4. 30～34 才	14	13. 2%
5. 35～39 才	12	11. 3%
6. 40～44 才	8	7. 5%
7. 45～49 才	7	6. 6%
8. 50～54 才	7	6. 6%
9. 55～59 才	5	4. 7%
10. 60～64 才	4	3. 8%
11. 65～69 才	4	3. 8%
12. 70 才以上	4	3. 8%
無回答	0	0. 0%
小 計	106	100. 0%

問3 現在（転出されたところ）での家族構成は。

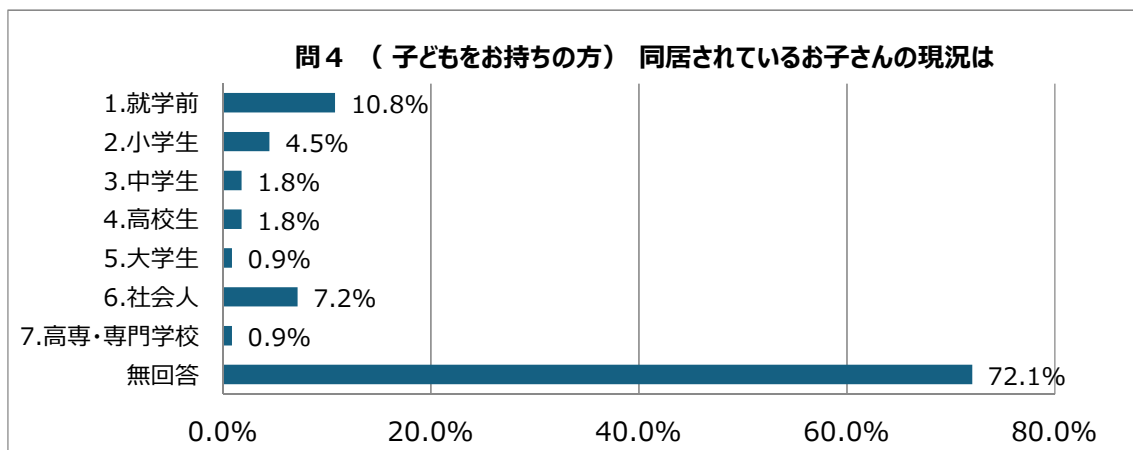
「単身」が最も多く、全体の 48.1%を占めている。次いで「夫婦二人」が 20.8%、「夫婦と子ども」が 10.4%である。この結果から、回答者の多くが単身生活を送っていることがわかる一方で、夫婦で生活している人も一定数いることが確認できる。



項 目	回答数	%
1. 単身	51	48. 1%
2. 自分と親	5	4. 7%
3. 自分と子ども	6	5. 7%
4. 自分と子どもと親	0	0. 0%
5. 夫婦二人	22	20. 8%
6. 夫婦と親	3	2. 8%
7. 夫婦と子ども	11	10. 4%
8. 夫婦と子どもと親	6	5. 7%
無回答	2	1. 9%
小 計	106	100. 0%

問4 （子どもをお持ちの方）同居されているお子さんの現況は（あてはまるもの全てに○）。

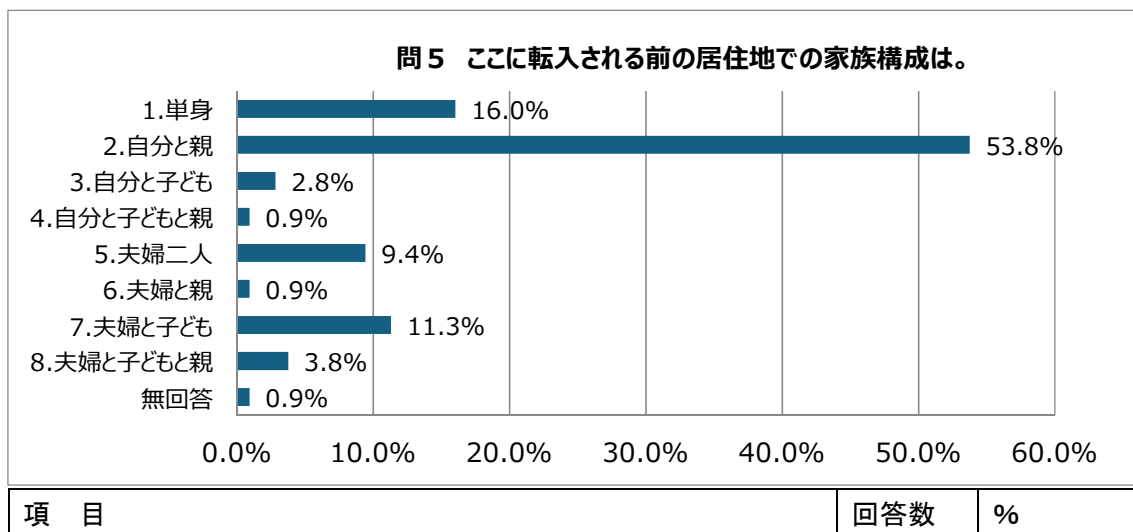
「無回答」が最も多く、全体の 72.1%を占めている。次いで「就学前」が 10.8%、「社会人」が 7.2%である。この結果から、子どもを持つ回答者は少数であり、主に小さな子どもや社会人の子どもと同居していることがわかる。



項 目	回答数	%
1. 就学前	12	10. 8%
2. 小学生	5	4. 5%
3. 中学生	2	1. 8%
4. 高校生	2	1. 8%
5. 大学生	1	0. 9%
6. 社会人	8	7. 2%
7. 高専・専門学校	1	0. 9%
無回答	80	72. 1%
小 計	111	100. 0%

問5 上山市に居住されていたときの家族構成は。

「自分と親」が最も多く、全体の 53.8%を占めている。次いで「単身」が 16.0%、「夫婦と子ども」が 11.3%である。この結果から、転入前は親と同居していた人が多いことがわかる。

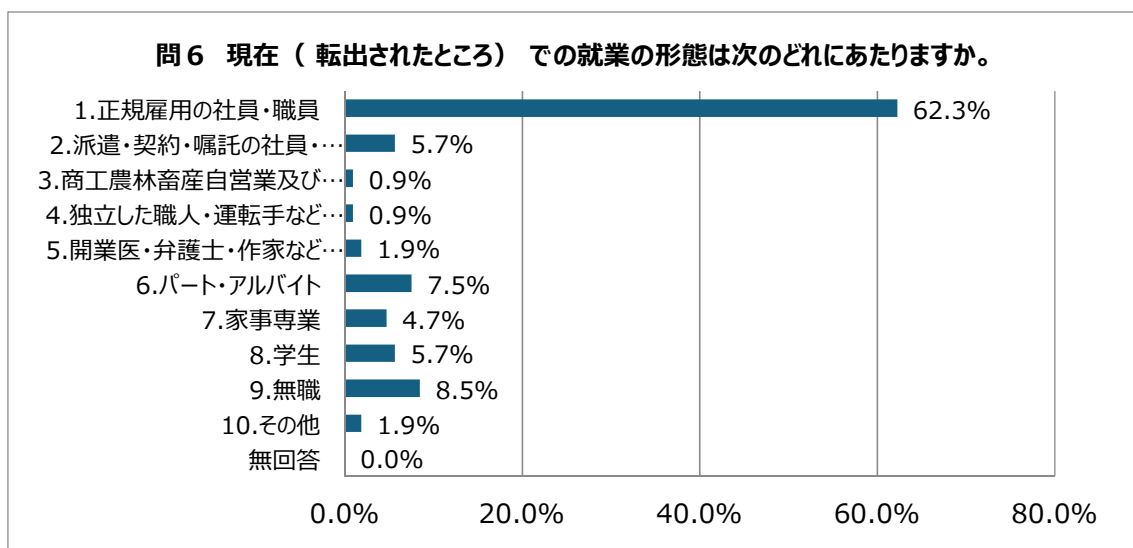


項 目	回答数	%
-----	-----	---

1. 単身	17	16.0%
2. 自分と親	57	53.8%
3. 自分と子ども	3	2.8%
4. 自分と子どもと親	1	0.9%
5. 夫婦二人	10	9.4%
6. 夫婦と親	1	0.9%
7. 夫婦と子ども	12	11.3%
8. 夫婦と子どもと親	4	3.8%
無回答	1	0.9%
小 計	106	100.0%

問6 現在（転出されたところ）での就業の形態は次のどれにあたりますか。

「正規雇用の社員・職員」が最も多く、全体の62.3%を占めている。次いで「無職」が8.5%、「パート・アルバイト」が7.5%である。この結果から、回答者の大多数が正規雇用の社員として働いていることがわかる。



項 目	回答数	%
1. 正規雇用の社員・職員	66	62.3%
2. 派遣・契約・嘱託の社員・職員	6	5.7%
3. 商工農林畜産自営業及び家族従業者	1	0.9%
4. 独立した職人・運転手など技能専門職	1	0.9%
5. 開業医・弁護士・作家など自由業	2	1.9%
6. パート・アルバイト	8	7.5%
7. 家事専業	5	4.7%

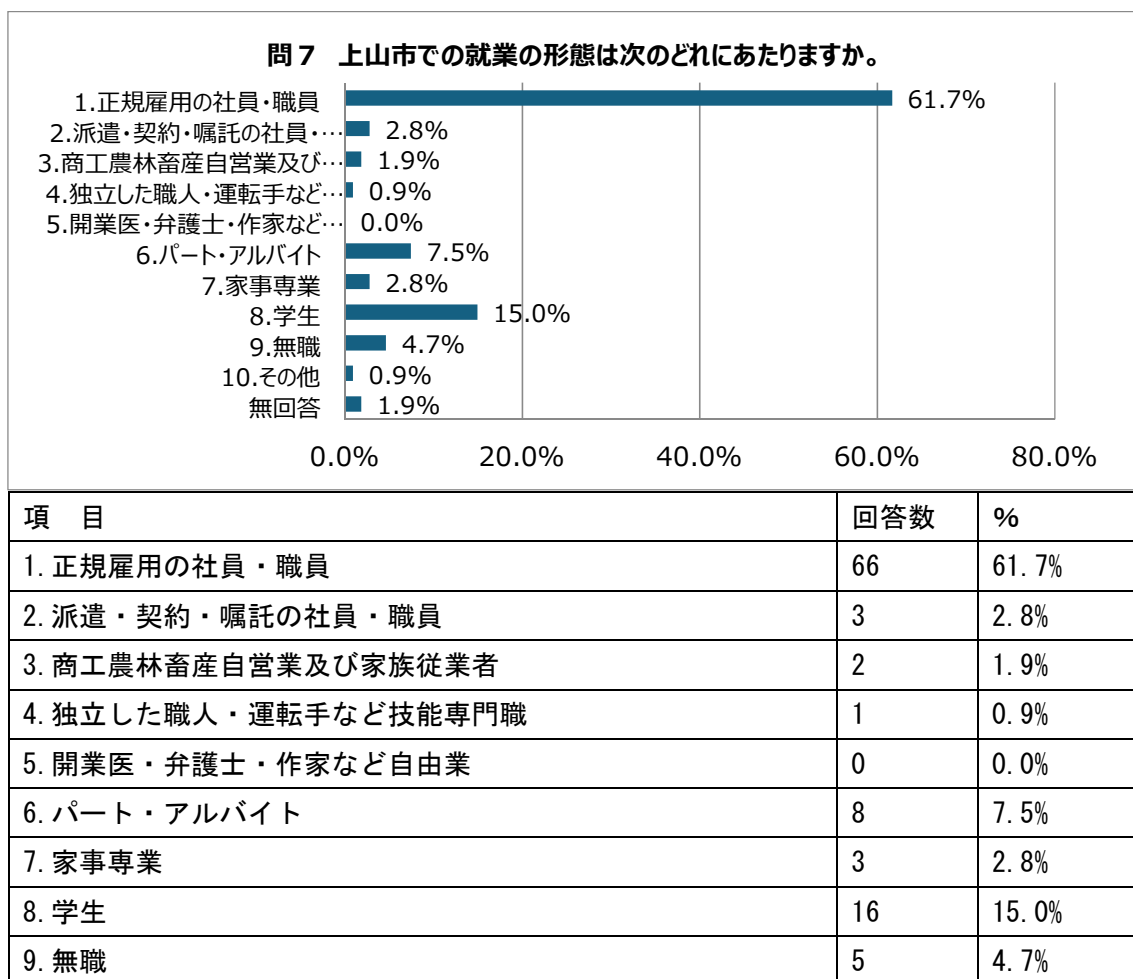
8. 学生	6	5.7%
9. 無職	9	8.5%
10. その他	2	1.9%
無回答	0	0.0%
小 計	106	100.0%

問6 10. その他（自由記述）

- 市の会計年度職員
- 就労B型

問7 上山市での就業の形態は次のどれにあたりますか。

「正規雇用の社員・職員」が最も多く、全体の61.7%を占めている。次いで「学生」が15.0%、「パート・アルバイト」が7.5%である。この結果から、上山市でも多くの人が正規雇用で働いていたことがわかる。



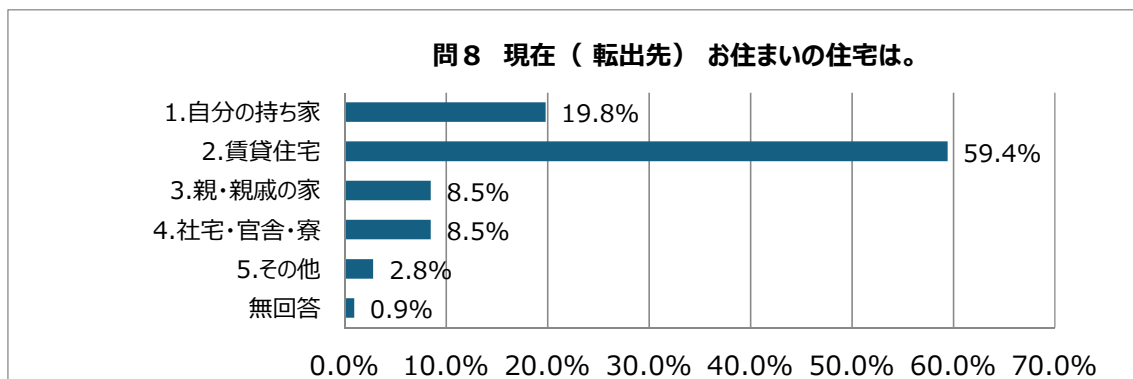
10. その他	1	0.9%
無回答	2	1.9%
小 計	107	100.0%

問7 10. その他（自由記述）

- 職場は市外、正規雇用

問8 現在（転出先）お住まいの住宅は。

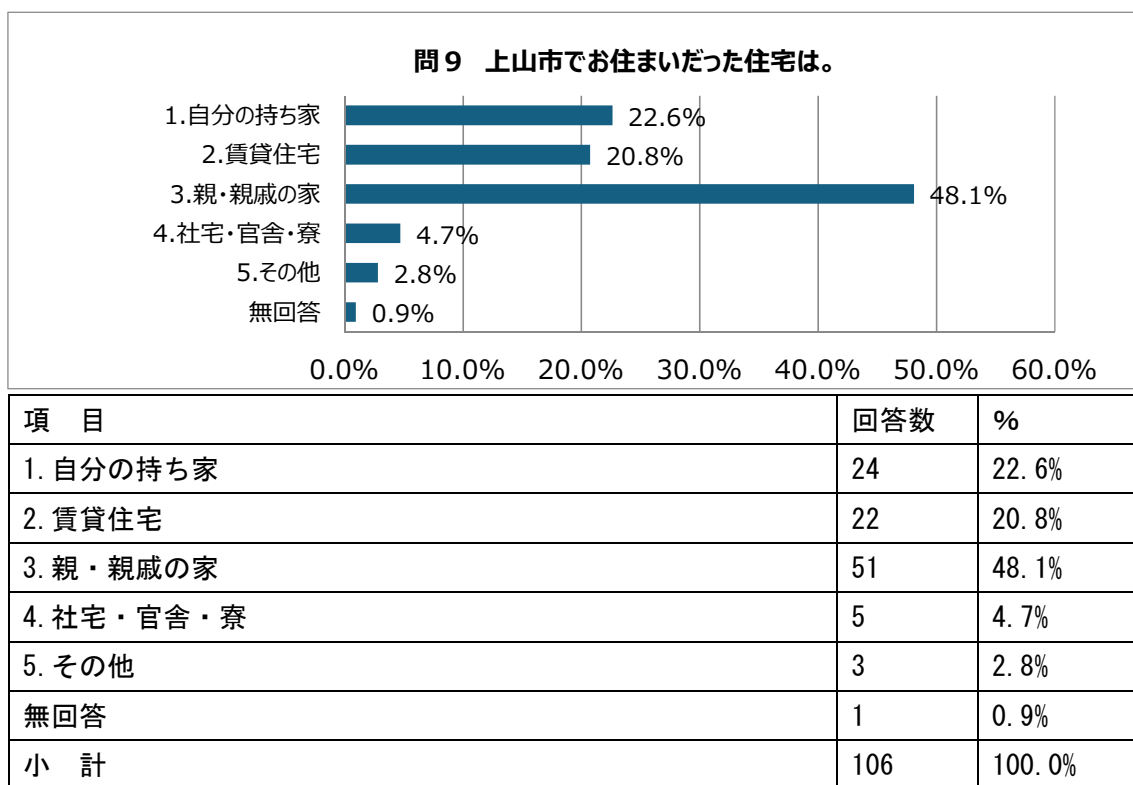
「賃貸住宅」が最も多く、全体の 59.4%を占めている。次いで「自分の持ち家」が 19.8%、「親・親戚の家」および「社宅・官舎・寮」がそれぞれ 8.5%である。この結果から、回答者の多くが賃貸住宅に住んでいることがわかる。



項 目	回答数	%
1. 自分の持ち家	21	19.8%
2. 賃貸住宅	63	59.4%
3. 親・親戚の家	9	8.5%
4. 社宅・官舎・寮	9	8.5%
5. その他	3	2.8%
無回答	1	0.9%
小 計	106	100.0%

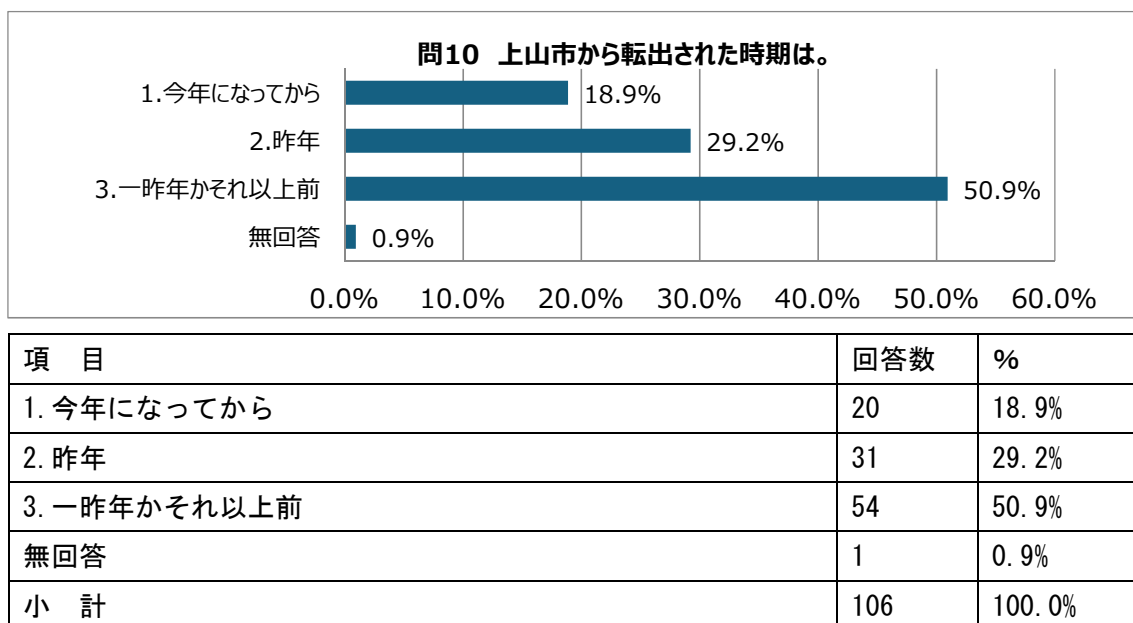
問9 上山市でお住まいだった住宅は。

「親・親戚の家」が最も多く、全体の 48.1%を占めている。次いで「自分の持ち家」が 22.6%、「賃貸住宅」が 20.8%である。この結果から、上山市では親や親戚の家に住んでいた人が多いことがわかる。



問10 上山市から転出された時期は。

「一昨年かそれ以上前」が最も多く、全体の 50.9%を占めている。次いで「昨年」が 29.2%、「今年になってから」が 18.9%である。この結果から、回答者の多くが過去 2 年以上前に転出していることがわかる。



問 11 転出された先の居住地は（都道府県名と市区町村名をご記入ください）。

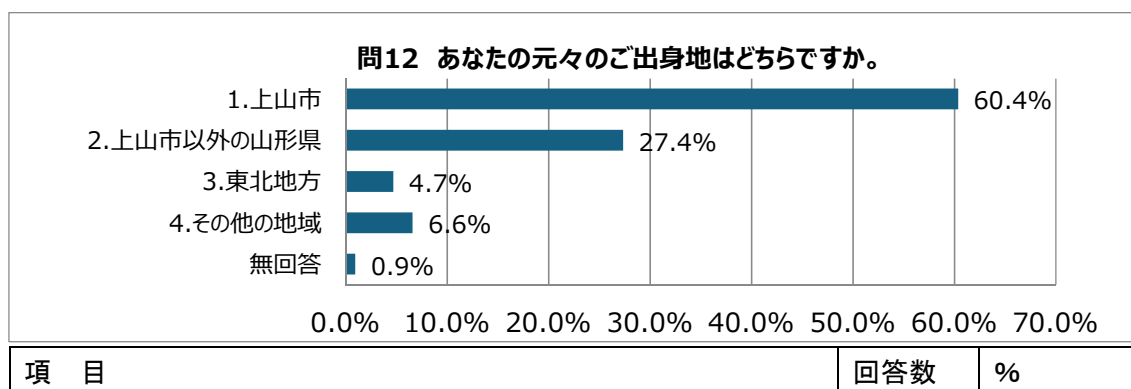
以下に、回答が多かった順に並び替えました。

- 山形県山形市（同回答 21 件）
- 山形市（同回答 8 件）
- 山形県天童市（同回答 3 件）
- 山形県鶴岡市（同回答 2 件）
- 山形県河北町（同回答 2 件）
- 山形県米沢市（同回答 2 件）
- 秋田県秋田市（同回答 2 件）
- 東京都江戸川区（同回答 2 件）
- 静岡県三島市（同回答 2 件）
- 北海道札幌市白石区
- 北海道滝川市
- 北海道千歳市
- 岩手県盛岡市
- 宮城県仙台市宮城野区
- 宮城県登米市
- 宮城県仙台市青葉区
- 宮城県仙台市太白区
- 宮城県仙台市
- 宮城県塩竈市
- 宮城県岩沼市
- 栃木県宇都宮市
- 山形県寒河江市
- 山形県南陽市
- 山形県川西町
- 山形県山辺町
- 山形県山辺町緑ヶ丘
- 山形県山形市春日町
- 山形県山形市桧町
- 山形県山形市高堂
- 山形県山形市大字村木沢
- 東根市
- 天童市
- 東村山都山辺町緑ヶ丘

- 福島県福島市
- 福島県郡山市
- 新庄市
- 新潟県三条市
- 新潟県長岡市
- 埼玉県上尾市
- 埼玉県狭山市
- 千葉県銚子市
- 千葉県千葉市
- 東京都台東区
- 東京都三鷹市世田谷区
- 東京都清瀬市
- 東京都品川区
- 東京都板橋区
- 東京都世田谷区
- 大阪府高槻市
- 大阪府吹田市
- 鳥取県両三柳
- 神奈川県厚木市
- 長野県飯田市
- 静岡県富士宮市
- 大分県由布市

問 12 あなたの元々のご出身地はどちらですか。

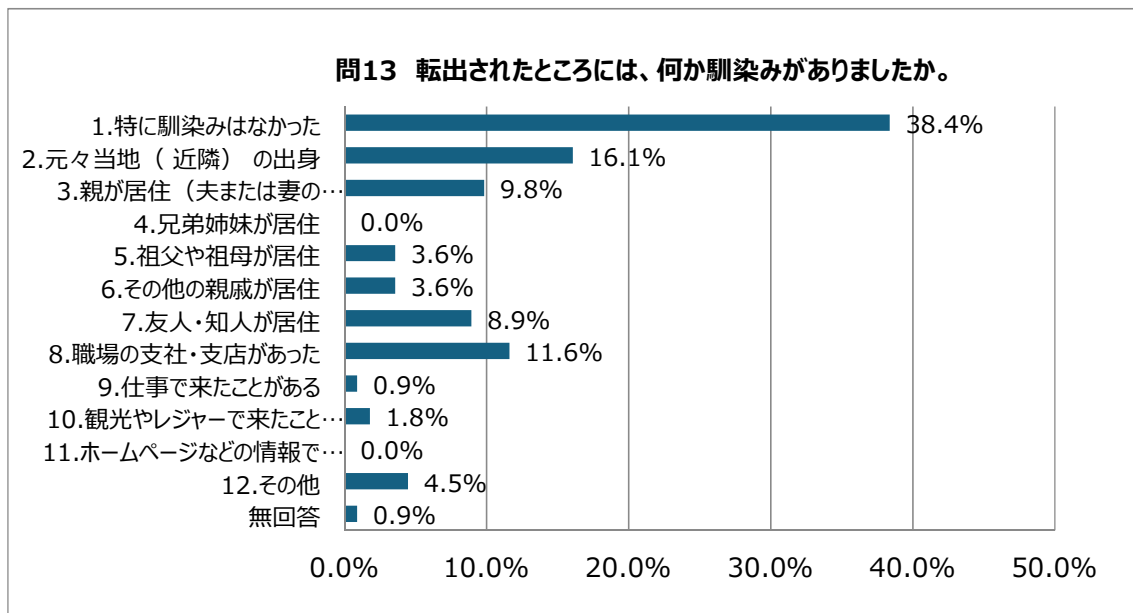
「上山市」が最も多く、全体の 60.4%を占めている。次いで「上山市以外の山形県」が 27.4%、「東北地方」が 4.7%である。この結果から、回答者の多くが上山市出身であることがわかる。



1. 上山市	64	60.4%
2. 上山市以外の山形県	29	27.4%
3. 東北地方	5	4.7%
4. その他の地域	7	6.6%
無回答	1	0.9%
小 計	106	100.0%

問13 転出されたところには、何か馴染みがありましたか。

「特に馴染みはなかった」が最も多く、全体の38.4%を占めている。次いで「学校があった」が26.2%、「勤務先があった」が17.8%である。この結果から、多くの回答者が転出先に特別な馴染みがなかったことがわかる一方で、学校や勤務先が転出先にあった人も一定数いることが確認できる。

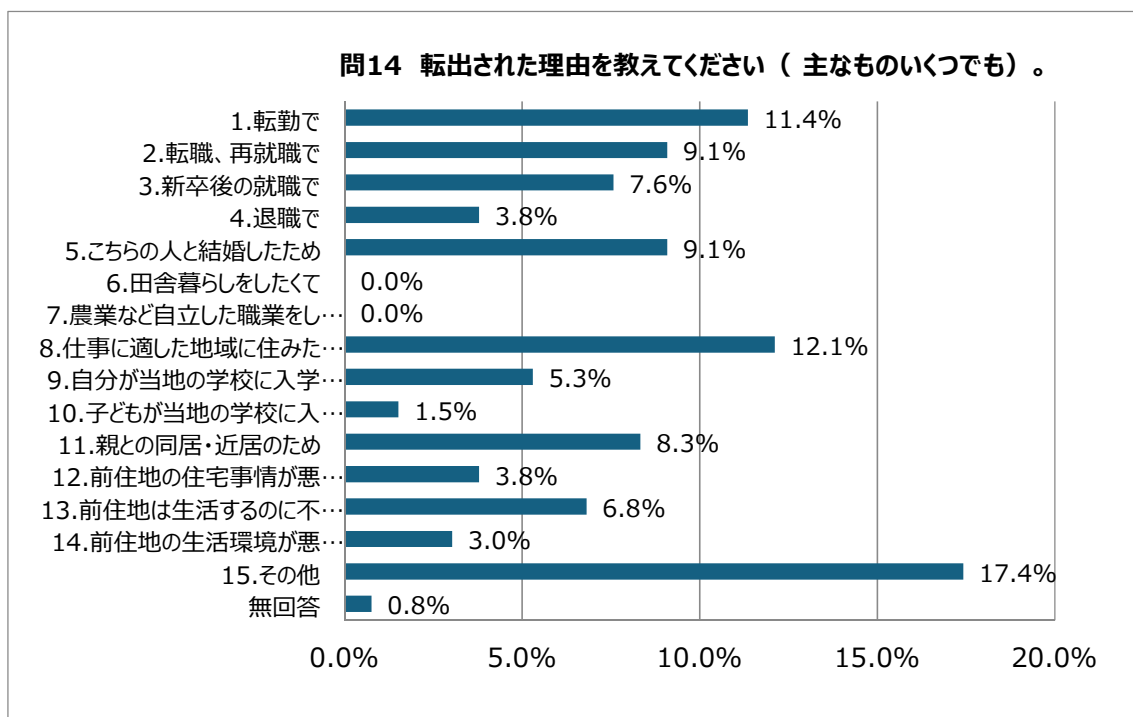


項 目	回答数	%
1. 特に馴染みはなかった	43	38.4%
2. 元々当地（近隣）の出身	18	16.1%
3. 親が居住（夫または妻の実家）	11	9.8%
4. 兄弟姉妹が居住	0	0.0%
5. 祖父や祖母が居住	4	3.6%
6. その他の親戚が居住	4	3.6%
7. 友人・知人が居住	10	8.9%
8. 職場の支社・支店があった	13	11.6%
9. 仕事で来たことがある	1	0.9%

10. 観光やレジャーで来たことがある	2	1.8%
11. ホームページなどの情報で知っていた	0	0.0%
12. その他	5	4.5%
無回答	1	0.9%
小 計	112	100.0%

問 14 転出された理由を教えてください（主なもののいくつか）。

転出理由として最も多かったのは「その他」であり、回答数は 23 名（17.4%）であった。次いで「仕事に適した地域に住みたくて」が 16 名（12.1%）、「転勤で」が 15 名（11.4%）であった。「その他」は具体的な理由が明記されていないが、多様な個別事情が含まれていると考えられる。「仕事に適した地域に住みたくて」は、職業上の都合により生活環境を変える必要があったことを示している。「転勤で」は、企業や組織の指示による異動が主な理由となっている。



項 目	回答数	%
1. 転勤で	15	11.4%
2. 転職、再就職で	12	9.1%
3. 新卒後の就職で	10	7.6%
4. 退職で	5	3.8%
5. こちらの人と結婚したため	12	9.1%
6. 田舎暮らしをしたくて	0	0.0%

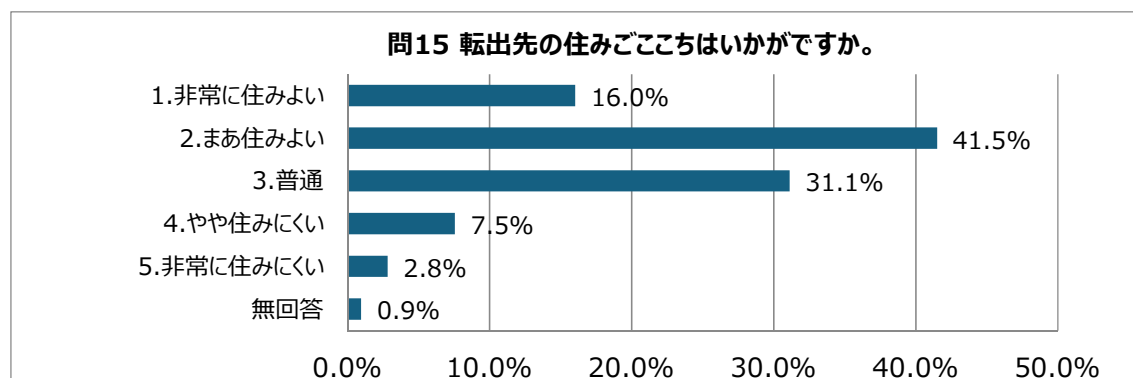
7. 農業など自立した職業をしたくて	0	0.0%
8. 仕事に適した地域に住みたくて	16	12.1%
9. 自分が当地の学校に入学したから	7	5.3%
10. 子どもが当地の学校に入学したから	2	1.5%
11. 親との同居・近居のため	11	8.3%
12. 前住地の住宅事情が悪かったから	5	3.8%
13. 前住地は生活するのに不便だったから	9	6.8%
14. 前住地の生活環境が悪かったから	4	3.0%
15. その他	23	17.4%
無回答	1	0.8%
小 計	132	100.0%

問 14 15. その他（自由記述）

- 親との不仲により。
- おとうさんたおれた時ひろいへや動きやすいようにと思った
- 子との近居
- 高齢の親を面倒みていたが兄夫婦が同居して面倒みてくれることになった
- 父親の故郷であり、供養の為
- 娘の出産
- 結婚の為
- 離婚
- 子供の環境により合う場所だと思ったから
- 病気による高齢のため
- 一人暮らしをしたかったから
- 妻の勤務地の近く
- 金銭的に大変になってきたから
- 自立のため、職場が近いため
- 離婚のため
- いい物件があったから（一人暮らしのために）
- 義父母との軋轢
- 自立のため
- 新居建設のため
- 住まいが狭かったため

問 15 転出先の住みごこちは如何ですか。

転出先の住みごこちについては、「まあ住みよい」が最も多く、44 名（41.5%）であった。次いで「普通」が 33 名（31.1%）、「非常に住みよい」が 17 名（16.0%）であった。この結果から、転出先の住みごこちに対する評価はおおむね良好であることがわかる。特に「まあ住みよい」と「非常に住みよい」を合わせると、全体の 57.5%を占めており、多くの人が転出先の生活に満足している様子が伺える。

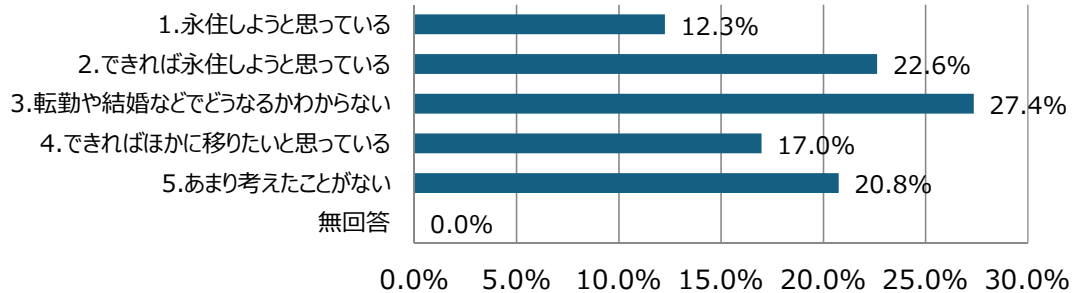


項 目	回答数	%
1. 非常に住みよい	17	16.0%
2. まあ住みよい	44	41.5%
3. 普通	33	31.1%
4. やや住みにくい	8	7.5%
5. 非常に住みにくい	3	2.8%
無回答	1	0.9%
小 計	106	100.0%

問 16 転出先では長く住み続けられるおつもりですか。

転出先での長期居住意向については、「転勤や結婚などでどうなるかわからない」が最も多く、29 名（27.4%）であった。次いで「できれば永住しようと思っている」が 24 名（22.6%）、「あまり考えたことがない」が 22 名（20.8%）であった。この結果から、多くの人が転出先での将来について不確定な状況にあることがわかる。一方で、永住を希望する割合も一定数存在し、転出先での生活に対する前向きな意向も伺える。

問16 転出先では長く住み続けられるおつもりですか。

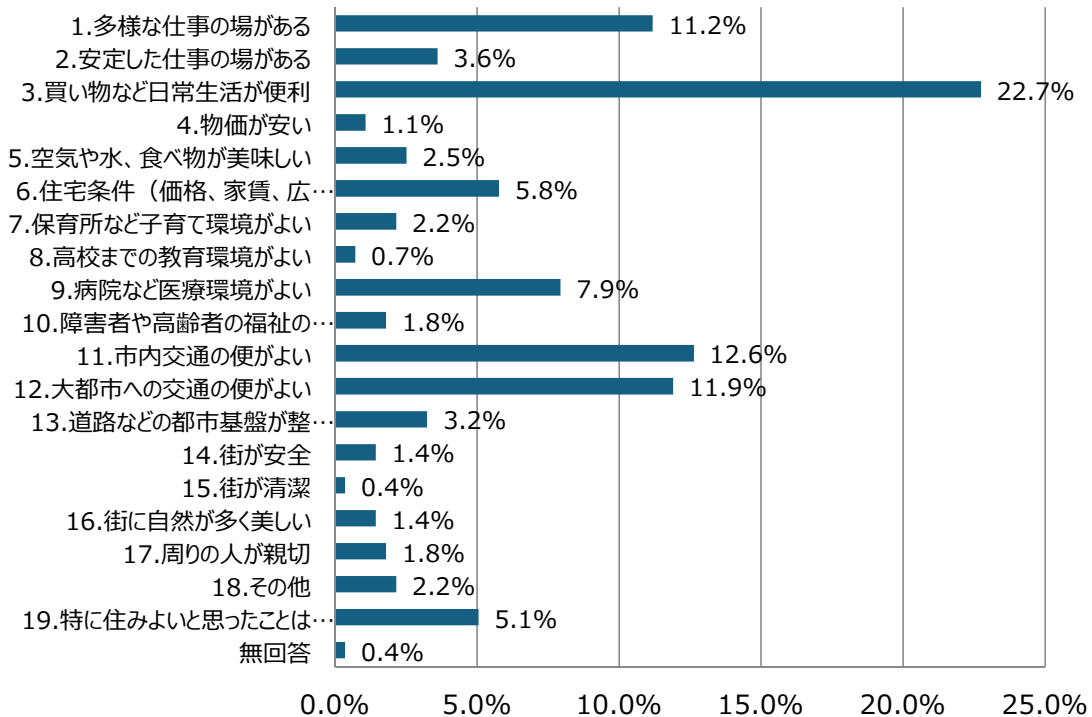


項 目	回答数	%
1. 永住しようと思っている	13	12. 3%
2. できれば永住しようと思っている	24	22. 6%
3. 転勤や結婚などでどうなるかわからない	29	27. 4%
4. できればほかに移りたいと思っている	18	17. 0%
5. あまり考えたことがない	22	20. 8%
無回答	0	0. 0%
小 計	106	100. 0%

問 17 転出前の上山市に比べて、当地の方が住みよいと思われたことはありますか（いくつでも）。

上山市に比べて当地の方が住みよいと思われたこととして最も多かったのは、「買い物など日常生活が便利」であり、63名（22.7%）であった。次いで「市内交通の便がよい」が35名（12.6%）、「大都市への交通の便がよい」が33名（11.9%）であった。これらの結果から、生活の利便性や交通の便が住みよさに大きく影響していることがわかる。

問17 転出前の上山市に比べて、当地の方が住みよいと思われたことはありますか
(いくつでも)。



項 目	回答数	%
1. 多様な仕事の場がある	31	11. 2%
2. 安定した仕事の場がある	10	3. 6%
3. 買い物など日常生活が便利	63	22. 7%
4. 物価が安い	3	1. 1%
5. 空気や水、食べ物が美味しい	7	2. 5%
6. 住宅条件（価格、家賃、広さなど）がよい	16	5. 8%
7. 保育所など子育て環境がよい	6	2. 2%
8. 高校までの教育環境がよい	2	0. 7%
9. 病院など医療環境がよい	22	7. 9%
10. 障害者や高齢者の福祉の環境がよい	5	1. 8%
11. 市内交通の便がよい	35	12. 6%
12. 大都市への交通の便がよい	33	11. 9%
13. 道路などの都市基盤が整備されている	9	3. 2%
14. 街が安全	4	1. 4%
15. 街が清潔	1	0. 4%
16. 街に自然が多く美しい	4	1. 4%
17. 周りの人が親切	5	1. 8%

18. その他	6	2.2%
19. 特に住みよいと思ったことはない	14	5.1%
無回答	1	0.4%
小 計	277	100.0%

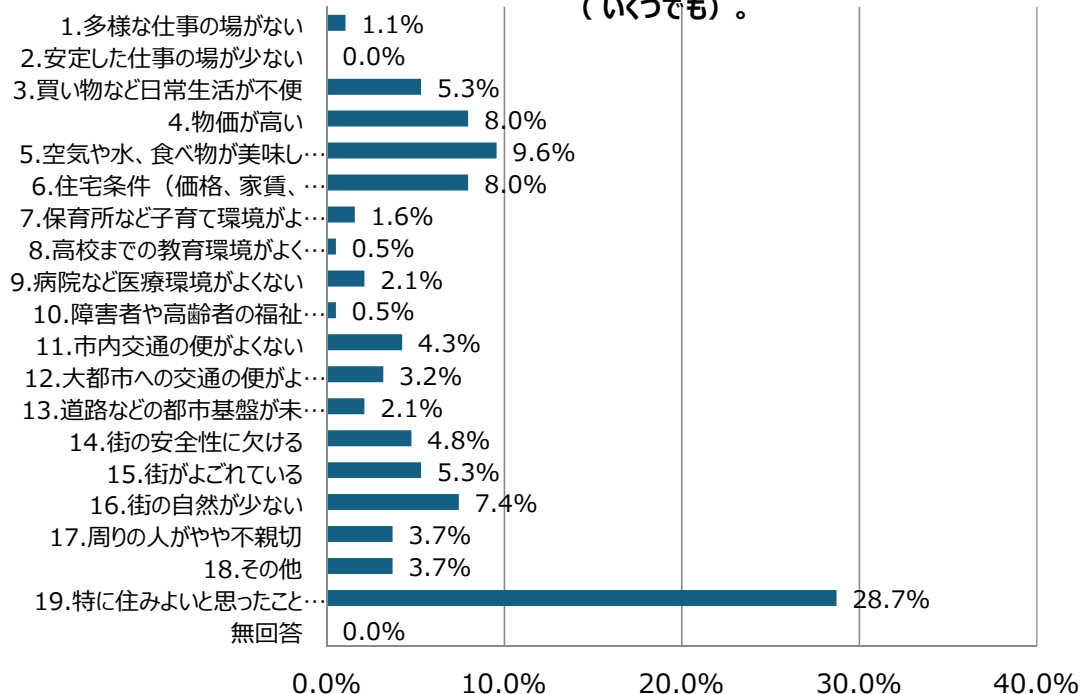
問 17 18. その他（自由記述）

- 子どもが多く町内の子ども行事が活発＆町内会がちゃんと機能している。
- 職場が近い
- 気候が良いすずしい
- 上山市は大して何もない割に家賃が高い。だったら山形市に住んだ方がマシ
- 地元のため知り合いが多い。方言が分からずに迷惑をかけることがない。
- 積雪量が少ない

問 18 転出前の上山市に比べて、当地の方が住みにくいと思われたことはありますか（いくつでも）。

当地の方が住みにくいと思われたこととして最も多かったのは、「特に住みよいと思ったことはない」であり、54 名（28.7%）であった。次いで「空気や水、食べ物が美味しくない」が 18 名（9.6%）、「物価が高い」と「住宅条件（価格、家賃、広さなど）が悪い」がそれぞれ 15 名（8.0%）であった。これらの結果から、住みにくさを感じる要因として生活環境やコスト面が挙げられている。

問18 転出前の上山市に比べて、当地の方が住みにくいと思われたことはありますか
(いくつでも)。



項 目	回答数	%
1. 多様な仕事の場がない	2	1. 1%
2. 安定した仕事の場が少ない	0	0. 0%
3. 買い物など日常生活が不便	10	5. 3%
4. 物価が高い	15	8. 0%
5. 空気や水、食べ物が美味しくない	18	9. 6%
6. 住宅条件（価格、家賃、広さなど）が悪い	15	8. 0%
7. 保育所など子育て環境がよくない	3	1. 6%
8. 高校までの教育環境がよくない	1	0. 5%
9. 病院など医療環境がよくない	4	2. 1%
10. 障害者や高齢者の福祉の環境がよくない	1	0. 5%
11. 市内交通の便がよくない	8	4. 3%
12. 大都市への交通の便がよくない	6	3. 2%
13. 道路などの都市基盤が未整備	4	2. 1%
14. 街の安全性に欠ける	9	4. 8%
15. 街がよごれている	10	5. 3%
16. 街の自然が少ない	14	7. 4%
17. 周りの人がやや不親切	7	3. 7%

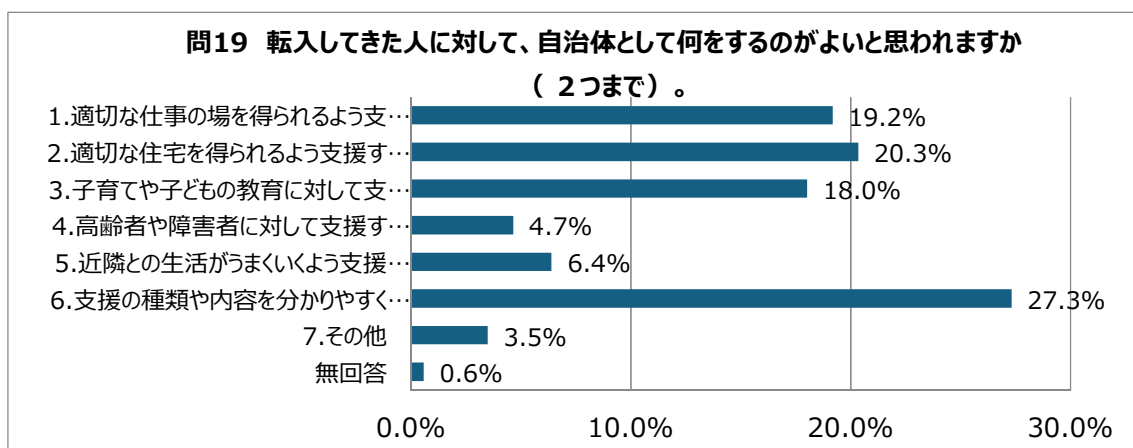
18. その他	7	3.7%
19. 特に住みよいと思ったことはない	54	28.7%
無回答	0	0.0%
小 計	188	100.0%

問 18 18. その他（自由記述）

- 人が多いこと、大きい道路が近くにあるため騒音がある
- 気候
- 雪が多い
- お店の駐車場が狭い交通が全体的にゴチャゴチャしていて危ない、歩道の凹凸が多くて子どもたちが…
- 交通量や酔っ払いが多くてうるさい
- 近所付き合いが上山ほどない
- 上山市に評価できるものなどほとんど無い。

問 19 転入してきた人に対して、自治体として何をするのがよいと思われますか（2つまで）。

転入してきた人に対する自治体の支援として最も多かったのは、「支援の種類や内容を分かりやすく教えてくれること」であり、47名（27.3%）であった。次いで「適切な住宅を得られるよう支援すること」が35名（20.3%）、「適切な仕事の間を得られるよう支援すること」が33名（19.2%）であった。この結果から、情報提供の重要性や住宅、就業支援の必要性が示されている。



項 目	回答数	%
1. 適切な仕事の間を得られるよう支援すること	33	19.2%

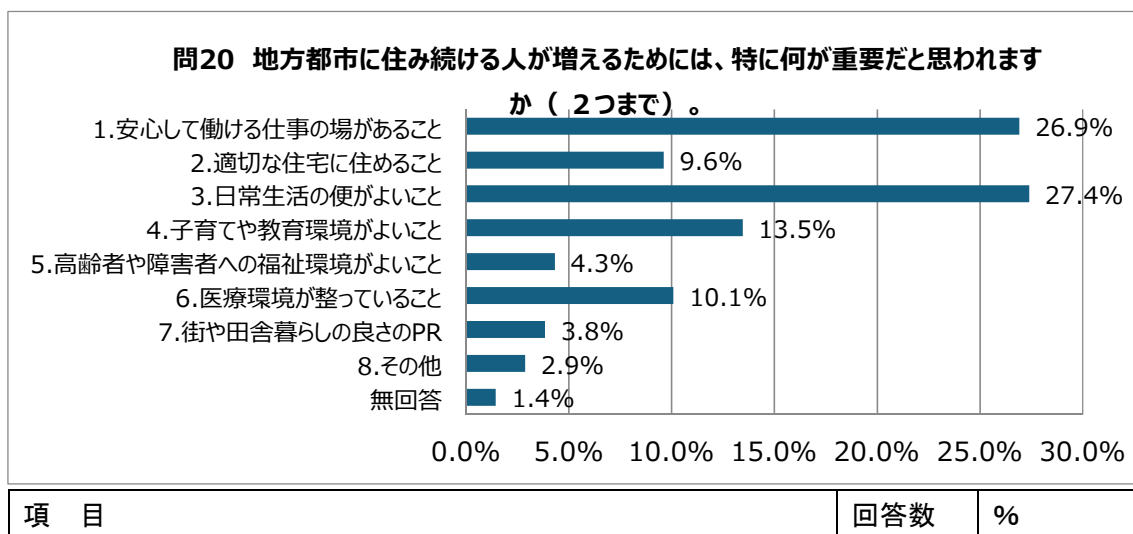
2. 適切な住宅を得られるよう支援すること	35	20.3%
3. 子育てや子どもの教育に対して支援すること	31	18.0%
4. 高齢者や障害者に対して支援すること	8	4.7%
5. 近隣との生活がうまくいくよう支援すること	11	6.4%
6. 支援の種類や内容を分かりやすく教えてくれること	47	27.3%
7. その他	6	3.5%
無回答	1	0.6%
小 計	172	100.0%

問 19 7. その他（自由記述）

- ない
- 水道料金値下げ
- 大型ショッピングモールやデパートなど、買い物できるところを増やしてほしい。

問 20 地方都市に住み続ける人が増えるためには、特に何が重要だと思われるか（2つまで）。

地方都市に住み続けるために重要だと思われることとして最も多かったのは、「日常生活の便がよいこと」であり、57名（27.4%）であった。次いで「安心して働ける仕事があること」が56名（26.9%）、「子育てや教育環境がよいこと」が28名（13.5%）であった。この結果から、生活の利便性、安定した職場、子育て・教育環境の整備が重要であることがわかる。また、「医療環境が整っていること」や「適切な住宅に住めること」も一定の割合を占めており、医療や住環境の充実も地方都市に住み続けるために重要な要素であることが示されている。



1. 安心して働ける仕事のあること	56	26.9%
2. 適切な住宅に住めること	20	9.6%
3. 日常生活の便がよいこと	57	27.4%
4. 子育てや教育環境がよいこと	28	13.5%
5. 高齢者や障害者への福祉環境がよいこと	9	4.3%
6. 医療環境が整っていること	21	10.1%
7. 街や田舎暮らしの良さのPR	8	3.8%
8. その他	6	2.9%
無回答	3	1.4%
小 計	208	100.0%

問 20 8. その他（自由記述）

- 大都市と比べ、公共交通の便が悪い（終電、終バスが早いなど）。採算性の問題で仕方ないと思うか…。
- 都会の喧騒から離れて、静かに暮らしていけるような街作り。地方から出ていった人も戻ってこれる変わらない自然。
- 子供を増やすこと、住み続けたい人を増やすのでは無い。母数を増やすが良いかと、住み続けられる人が減っている事は、どう考えている？
- 水道料金が高いので少しでも安くしてほしい
- 大型ショッピングモールやデパートなどの買い物できる場所の充実やアミューズメント施設の充実

（３）転入者と転出者の比較

以下に、転入者と転出者の違いに着目した設問ごとの示唆を示す。

戸籍上の性別の違い

[転入者]

問 1 あなたの戸籍上の性別は。

項 目	回答数	%
1. 男性	66	40.5%
2. 女性	96	58.9%

無回答	1	0.6%
小 計	163	100.0%

[転出者]

問1 あなたの戸籍上の性別は。

項 目	回答数	%
1. 男性	40	37.7%
2. 女性	66	62.3%
無回答	0	0.0%
小 計	106	100.0%

[示唆]

転入者では女性の割合が高く、転出者でも女性の割合が高いが、転入者の方が男性の割合が若干高い。女性の移動が全体的に多いことが示唆される。

年齢の違い

[転入者]

問2 お年は。

項 目	回答数	%
1. 20才未満	1	0.6%
2. 20～24才	21	12.9%
3. 25～29才	27	16.6%
4. 30～34才	25	15.3%
5. 35～39才	19	11.7%
6. 40～44才	11	6.7%
7. 45～49才	15	9.2%
8. 50～54才	6	3.7%
9. 55～59才	8	4.9%
10. 60～64才	12	7.4%
11. 65～69才	8	4.9%
12. 70才以上	9	5.5%
無回答	1	0.6%
小 計	163	100.0%

[転出者]

問2 お年は。

項 目	回答数	%
1. 20才未満	5	4.7%
2. 20～24才	17	16.0%
3. 25～29才	19	17.9%
4. 30～34才	14	13.2%
5. 35～39才	12	11.3%
6. 40～44才	8	7.5%
7. 45～49才	7	6.6%
8. 50～54才	7	6.6%
9. 55～59才	5	4.7%
10. 60～64才	4	3.8%
11. 65～69才	4	3.8%
12. 70才以上	4	3.8%
無回答	0	0.0%
小 計	106	100.0%

[示唆]

転入者は若年層と高齢層が多く、転出者は若年層が多い。若年層の転出が多い一方で、高齢層が転入してくる傾向がある。

現在の家族構成の違い

[転入者]

問3 当地での家族構成は。

項 目	回答数	%
1. 単身	43	26.4%
2. 自分と親	30	18.4%
3. 自分と子ども	8	4.9%
4. 自分と子どもと親	1	0.6%
5. 夫婦二人	32	19.6%
6. 夫婦と親	10	6.1%
7. 夫婦と子ども	34	20.9%
8. 夫婦と子どもと親	3	1.8%

無回答	2	1.2%
小 計	163	100.0%

[転出者]

問3 現在（転出されたところ）での家族構成は。

項 目	回答数	%
1. 単身	51	48.1%
2. 自分と親	5	4.7%
3. 自分と子ども	6	5.7%
4. 自分と子どもと親	0	0.0%
5. 夫婦二人	22	20.8%
6. 夫婦と親	3	2.8%
7. 夫婦と子ども	11	10.4%
8. 夫婦と子どもと親	6	5.7%
無回答	2	1.9%
小 計	106	100.0%

[示唆]

転出者の中では単身者が多い。転入者では家族と一緒に住む人が多い傾向が見られる。

同居する子どもの現況の違い（子どもをお持ちの場合）

[転入者]

問4 （子どもをお持ちの方）同居されているお子さんの現況は

項 目	回答数	%
1. 就学前	31	17.5%
2. 小学生	11	6.2%
3. 中学生	5	2.8%
4. 高校生	5	2.8%
5. 大学生	1	0.6%
6. 社会人	6	3.4%
7. 高専・専門学校	3	1.7%
無回答	115	65.0%

小 計	177	100.0%
-----	-----	--------

[転出者]

問4 (子どもをお持ちの方) 同居されているお子さんの現況は

項 目	回答数	%
1. 就学前	12	10.8%
2. 小学生	5	4.5%
3. 中学生	2	1.8%
4. 高校生	2	1.8%
5. 大学生	1	0.9%
6. 社会人	8	7.2%
7. 高専・専門学校	1	0.9%
無回答	80	72.1%
小 計	111	100.0%

[示唆]

転入者には就学前の子どもを持つ家庭が多い。転出者でも同様の傾向があるが、割合は低い。

現在の就業形態の違い

[転入者]

問6 当地での就業の形態は次のどれにあたりますか。

項 目	回答数	%
1. 正規雇用の社員・職員	93	56.4%
2. 派遣・契約・嘱託の社員・職員	11	6.7%
3. 商工農林畜産自営業及び家族従業者	6	3.6%
4. 独立した職人・運転手など技能専門職	1	0.6%
5. 開業医・弁護士・作家など自由業	0	0.0%
6. パート・アルバイト	18	10.9%
7. 家事専業	10	6.1%
8. 学生	2	1.2%
9. 無職	15	9.1%
10. その他	8	4.8%
無回答	1	0.6%

小 計	165	100.0%
-----	-----	--------

[転出者]

問6 現在（転出されたところ）での就業の形態は次のどれにあたりますか。

項 目	回答数	%
1. 正規雇用の社員・職員	66	62.3%
2. 派遣・契約・嘱託の社員・職員	6	5.7%
3. 商工農林畜産自営業及び家族従業者	1	0.9%
4. 独立した職人・運転手など技能専門職	1	0.9%
5. 開業医・弁護士・作家など自由業	2	1.9%
6. パート・アルバイト	8	7.5%
7. 家事専業	5	4.7%
8. 学生	6	5.7%
9. 無職	9	8.5%
10. その他	2	1.9%
無回答	0	0.0%
小 計	106	100.0%

[示唆]

転入者と転出者の間で正規雇用者の割合はほぼ同じだが、転入者の方がパート・アルバイトや無職の割合が若干高い。

転入/転出前の就業形態の違い

[転入者]

問8 ここに転入される前の居住地での就業の形態は次のどれにあたりますか。

項 目	回答数	%
1. 正規雇用の社員・職員	106	65.0%
2. 派遣・契約・嘱託の社員・職員	9	5.5%
3. 商工農林畜産自営業及び家族従業者	1	0.6%
4. 独立した職人・運転手など技能専門職	0	0.0%
5. 開業医・弁護士・作家など自由業	0	0.0%
6. パート・アルバイト	14	8.6%
7. 家事専業	5	3.1%
8. 学生	14	8.6%
9. 無職	2	1.2%

10. その他	6	3.7%
無回答	6	3.7%
小 計	163	100.0%

[転出者]

問7 上山市での就業の形態は次のどれにあたりますか。

項 目	回答数	%
1. 正規雇用の社員・職員	66	61.7%
2. 派遣・契約・嘱託の社員・職員	3	2.8%
3. 商工農林畜産自営業及び家族従業者	2	1.9%
4. 独立した職人・運転手など技能専門職	1	0.9%
5. 開業医・弁護士・作家など自由業	0	0.0%
6. パート・アルバイト	8	7.5%
7. 家事専業	3	2.8%
8. 学生	16	15.0%
9. 無職	5	4.7%
10. その他	1	0.9%
無回答	2	1.9%
小 計	107	100.0%

[示唆]

転出者の中には学生の割合が高く、学業を終えた後に転出する傾向が見られる。

現在のお住まいの住宅の違い

[転入者]

問9 当地でお住まいの住宅は。

項 目	回答数	%
1. 自分の持ち家	54	33.1%
2. 賃貸住宅	62	38.0%
3. 親・親戚の家	35	21.5%
4. 社宅・官舎・寮	6	3.7%
5. その他	1	0.6%
無回答	5	3.1%
小 計	163	100.0%

[転出者]

問 8 現在（転出先）お住まいの住宅は。

項 目	回答数	%
1. 自分の持ち家	21	19.8%
2. 賃貸住宅	63	59.4%
3. 親・親戚の家	9	8.5%
4. 社宅・官舎・寮	9	8.5%
5. その他	3	2.8%
無回答	1	0.9%
小 計	106	100.0%

[示唆]

転出者は賃貸住宅に住む割合が高い。転入者は持ち家の割合が転出者よりも高い。

転入/転出前のお住まいの住宅の違い

[転入者]

問 10 当地に転入される前の居住地でお住まいだった住宅は。

項 目	回答数	%
1. 自分の持ち家	23	14.1%
2. 賃貸住宅	93	57.1%
3. 親・親戚の家	24	14.7%
4. 社宅・官舎・寮	14	8.6%
5. その他	5	3.1%
無回答	4	2.5%
小 計	163	100.0%

[転出者]

問 9 上山市でお住まいだった住宅は。

項 目	回答数	%
1. 自分の持ち家	24	22.6%
2. 賃貸住宅	22	20.8%
3. 親・親戚の家	51	48.1%
4. 社宅・官舎・寮	5	4.7%
5. その他	3	2.8%
無回答	1	0.9%
小 計	106	100.0%

[示唆]

転入者の多くは賃貸住宅から転入してきている。一方で、転出者は親・親戚の家から出るケースが多い。

元々の出身地の違い

[転入者]

問 13 あなたの元々のご出身地はどちらですか。

項 目	回答数	%
1. 上山市	53	33.1%
2. 上山市以外の山形県	67	41.9%
3. 東北地方	19	11.9%
4. その他の地域	17	10.6%
無回答	4	2.5%
小 計	160	100.0%

[転出者]

問 12 あなたの元々のご出身地はどちらですか。

項 目	回答数	%
1. 上山市	64	60.4%
2. 上山市以外の山形県	29	27.4%
3. 東北地方	5	4.7%
4. その他の地域	7	6.6%
無回答	1	0.9%
小 計	106	100.0%

[示唆]

転入者は山形県内からの移動が多い。転出者の多くは上山市出身者である。

転入先/転出先への馴染みの有無の違い

[転入者]

問 14 当地には、何か馴染みがありましたか（いくつでも）。

項 目	回答数	%
1. 特に馴染みはなかった	46	18.6%

2. 元々当地（近隣）の出身	46	18.6%
3. 親が居住（夫または妻の実家）	49	19.8%
4. 兄弟姉妹が居住	10	4.0%
5. 祖父や祖母が居住	14	5.7%
6. その他の親戚が居住	8	3.2%
7. 友人・知人が居住	20	8.1%
8. 職場の支社・支店があった	12	4.9%
9. 仕事で来たことがある	8	3.2%
10. 観光やレジャーで来たことがある	20	8.1%
11. ホームページなどの情報で知っていた	1	0.4%
12. その他	6	2.4%
無回答	7	2.8%
小 計	247	100.0%

[転出者]

問 13 転出されたところには、何か馴染みがありましたか。

項 目	回答数	%
1. 特に馴染みはなかった	43	38.4%
2. 元々当地（近隣）の出身	18	16.1%
3. 親が居住（夫または妻の実家）	11	9.8%
4. 兄弟姉妹が居住	0	0.0%
5. 祖父や祖母が居住	4	3.6%
6. その他の親戚が居住	4	3.6%
7. 友人・知人が居住	10	8.9%
8. 職場の支社・支店があった	13	11.6%
9. 仕事で来たことがある	1	0.9%
10. 観光やレジャーで来たことがある	2	1.8%
11. ホームページなどの情報で知っていた	0	0.0%
12. その他	5	4.5%
無回答	1	0.9%
小 計	112	100.0%

[示唆]

転入者は、親や親戚が居住していることが理由で転入するケースが多い。一方で、転出者は特に馴染みのない場所へ移動する傾向が強い。

転入/転出理由の違い

[転入者]

問 15 当地に転居されてきた理由を教えてください（主なもののいくつでも）。

項 目	回答数	%
1. 転勤で	19	9.3%
2. 転職、再就職で	19	9.3%
3. 新卒後の就職で	13	6.4%
4. 退職で	10	4.9%
5. こちらの人と結婚したため	27	13.2%
6. 田舎暮らしをしたくて	6	2.9%
7. 農業など自立した職業をしたくて	3	1.5%
8. 仕事に適した地域に住みたくて	6	2.9%
9. 自分が当地の学校に入学したから	2	1.0%
10. 子どもが当地の学校に入学したから	3	1.5%
11. 親との同居・近居のため	24	11.8%
12. 前住地の住宅事情が悪かったから	12	5.9%
13. 前住地は生活するのに不便だったから	8	3.9%
14. 前住地の生活環境が悪かったから	8	3.9%
15. その他	38	18.6%
無回答	6	2.9%
小 計	204	100.0%

[転出者]

問 14 転出された理由を教えてください（主なもののいくつでも）。

項 目	回答数	%
1. 転勤で	15	11.4%
2. 転職、再就職で	12	9.1%
3. 新卒後の就職で	10	7.6%
4. 退職で	5	3.8%
5. こちらの人と結婚したため	12	9.1%
6. 田舎暮らしをしたくて	0	0.0%
7. 農業など自立した職業をしたくて	0	0.0%
8. 仕事に適した地域に住みたくて	16	12.1%
9. 自分が当地の学校に入学したから	7	5.3%

10. 子どもが当地の学校に入学したから	2	1.5%
11. 親との同居・近居のため	11	8.3%
12. 前住地の住宅事情が悪かったから	5	3.8%
13. 前住地は生活するのに不便だったから	9	6.8%
14. 前住地の生活環境が悪かったから	4	3.0%
15. その他	23	17.4%
無回答	1	0.8%
小 計	132	100.0%

[示唆]

転入者は結婚や親との同居が理由で来るケースが多いが、転出者は仕事関連（転勤や転職、仕事に適した地域）が主な理由となることが多い。

転入先/転出先の住みごちの違い

[転入者]

問 16 当地の住みごちはいかがですか。

項 目	回答数	%
1. 非常に住みよい	15	9.2%
2. まあ住みよい	63	38.7%
3. 普通	52	31.9%
4. やや住みにくい	20	12.3%
5. 非常に住みにくい	13	8.0%
無回答	0	0.0%
小 計	163	100.0%

[転出者]

問 15 転出先の住みごちはいかがですか。

項 目	回答数	%
1. 非常に住みよい	17	16.0%
2. まあ住みよい	44	41.5%
3. 普通	33	31.1%
4. やや住みにくい	8	7.5%
5. 非常に住みにくい	3	2.8%
無回答	1	0.9%
小 計	106	100.0%

[示唆]

転出者の方が転入者よりも転出先の住みごちに対して満足度が高い傾向が見られる。

転入先/転出先での定住意向の違い

[転入者]

問 17 当地には長く住み続けられるおつもりですか。

項 目	回答数	%
1. 永住しようと思っている	36	22. 1%
2. できれば永住しようと思っている	41	25. 2%
3. 転勤や結婚などでどうなるかわからない	38	23. 3%
4. できればほかに移りたいと思っている	27	16. 6%
5. あまり考えたことがない	21	12. 9%
無回答	0	0. 0%
小 計	163	100. 0%

[転出者]

問 16 転出先では長く住み続けられるおつもりですか。

項 目	回答数	%
1. 永住しようと思っている	13	12. 3%
2. できれば永住しようと思っている	24	22. 6%
3. 転勤や結婚などでどうなるかわからない	29	27. 4%
4. できればほかに移りたいと思っている	18	17. 0%
5. あまり考えたことがない	22	20. 8%
無回答	0	0. 0%
小 計	106	100. 0%

[示唆]

転入者の方が永住を考える割合が高いが、転出者は将来的な変動要因（転勤や結婚）を考慮している割合が高い。

転入先/転出先が「前住地より住みよい」と思われたことは（いくつでも）

[転入者]

問 18 当地に来られて、「前住地より住みよい」と思われたことはありますか（いくつでも）。

項 目	回答数	%
1. 多様な仕事の場がある	1	0.3%
2. 安定した仕事の場がある	3	0.8%
3. 買い物など日常生活が便利	30	8.5%
4. 物価が安い	10	2.8%
5. 空気や水、食べ物が美味しい	48	13.6%
6. 住宅条件（価格、家賃、広さなど）がよい	40	11.3%
7. 保育所など子育て環境がよい	5	1.4%
8. 高校までの教育環境がよい	2	0.6%
9. 病院など医療環境がよい	5	1.4%
10. 障害者や高齢者の福祉の環境がよい	2	0.6%
11. 市内交通の便がよい	10	2.8%
12. 大都市への交通の便がよい	24	6.8%
13. 道路などの都市基盤が整備されている	10	2.8%
14. 街が安全	28	7.9%
15. 街が清潔	24	6.8%
16. 街に自然が多く美しい	45	12.7%
17. 周りの人が親切	25	7.1%
18. その他	11	3.1%
19. 特に住みよいと思ったことはない	27	7.6%
無回答	3	0.8%
小 計	353	100.0%

[転出者]

問 17 転出前の上山市に比べて、当地の方が住みよいと思われたことはありますか（いくつでも）。

項 目	回答数	%
1. 多様な仕事の場がある	31	11.2%
2. 安定した仕事の場がある	10	3.6%
3. 買い物など日常生活が便利	63	22.7%
4. 物価が安い	3	1.1%
5. 空気や水、食べ物が美味しい	7	2.5%
6. 住宅条件（価格、家賃、広さなど）がよい	16	5.8%
7. 保育所など子育て環境がよい	6	2.2%
8. 高校までの教育環境がよい	2	0.7%

9. 病院など医療環境がよい	22	7.9%
10. 障害者や高齢者の福祉の環境がよい	5	1.8%
11. 市内交通の便がよい	35	12.6%
12. 大都市への交通の便がよい	33	11.9%
13. 道路などの都市基盤が整備されている	9	3.2%
14. 街が安全	4	1.4%
15. 街が清潔	1	0.4%
16. 街に自然が多く美しい	4	1.4%
17. 周りの人が親切	5	1.8%
18. その他	6	2.2%
19. 特に住みよいと思ったことはない	14	5.1%
無回答	1	0.4%
小 計	277	100.0%

[示唆]

転入者は自然環境や住宅条件にメリットを感じているが、転出者は日常生活の利便性や交通の便を重視している。

転入先/転出先が「前住地より住みにくい」と思われたこと

[転入者]

問 19 当地に来られて、「前住地より住みにくい」と思われたことはありますか（いくつでも）。

項 目	回答数	%
1. 多様な仕事の場がない	52	12.4%
2. 安定した仕事の場が少ない	29	6.9%
3. 買い物など日常生活が不便	66	15.7%
4. 物価が高い	10	2.4%
5. 空気や水、食べ物が美味しくない	1	0.2%
6. 住宅条件（価格、家賃、広さなど）が悪い	9	2.1%
7. 保育所など子育て環境がよいくない	15	3.6%
8. 高校までの教育環境がよいくない	11	2.6%
9. 病院など医療環境がよいくない	43	10.2%
10. 障害者や高齢者の福祉の環境がよいくない	9	2.1%
11. 市内交通の便がよいくない	55	13.1%
12. 大都市への交通の便がよいくない	35	8.3%

13. 道路などの都市基盤が未整備	15	3.6%
14. 街の安全性に欠ける	8	1.9%
15. 街がよごれている	2	0.5%
16. 街の自然が少ない	0	0.0%
17. 周りの人がやや不親切	7	1.7%
18. その他	15	3.6%
19. 特に住みよいと思ったことはない	32	7.6%
無回答	6	1.4%
小 計	420	100.0%

[転出者]

問 18 転出前の上山市に比べて、当地の方が住みにくいと思われたことはありますか（いくつかでも）。

項 目	回答数	%
1. 多様な仕事の場がない	2	1.1%
2. 安定した仕事の場が少ない	0	0.0%
3. 買い物など日常生活が不便	10	5.3%
4. 物価が高い	15	8.0%
5. 空気や水、食べ物が美味しくない	18	9.6%
6. 住宅条件（価格、家賃、広さなど）が悪い	15	8.0%
7. 保育所など子育て環境がよくない	3	1.6%
8. 高校までの教育環境がよくない	1	0.5%
9. 病院など医療環境がよくない	4	2.1%
10. 障害者や高齢者の福祉の環境がよくない	1	0.5%
11. 市内交通の便がよくない	8	4.3%
12. 大都市への交通の便がよくない	6	3.2%
13. 道路などの都市基盤が未整備	4	2.1%
14. 街の安全性に欠ける	9	4.8%
15. 街がよごれている	10	5.3%
16. 街の自然が少ない	14	7.4%
17. 周りの人がやや不親切	7	3.7%
18. その他	7	3.7%
19. 特に住みよいと思ったことはない	54	28.7%
無回答	0	0.0%
小 計	188	100.0%

[示唆]

転入者は仕事や生活の利便性に不満を感じる人が多いが、転出者は環境や住宅条件、物価に対して不満を持つことが多い。

転入者に対する自治体の支援希望の違い

[転入者]

問 20 転入してきた人に対して、自治体として何をするのがよいと思われますか（2つまで）。

項 目	回答数	%
1. 適切な仕事の間を得られるよう支援すること	42	16.3%
2. 適切な住宅を得られるよう支援すること	26	10.1%
3. 子育てや子どもの教育に対して支援すること	57	22.2%
4. 高齢者や障害者に対して支援すること	28	10.9%
5. 近隣との生活がうまくいくよう支援すること	18	7.0%
6. 支援の種類や内容を分かりやすく教えてくれること	64	24.9%
7. その他	16	6.2%
無回答	6	2.3%
小 計	257	100.0%

[転出者]

問 19 転入してきた人に対して、自治体として何をするのがよいと思われますか（2つまで）。

項 目	回答数	%
1. 適切な仕事の間を得られるよう支援すること	33	19.2%
2. 適切な住宅を得られるよう支援すること	35	20.3%
3. 子育てや子どもの教育に対して支援すること	31	18.0%
4. 高齢者や障害者に対して支援すること	8	4.7%
5. 近隣との生活がうまくいくよう支援すること	11	6.4%
6. 支援の種類や内容を分かりやすく教えてくれること	47	27.3%
7. その他	6	3.5%
無回答	1	0.6%
小 計	172	100.0%

[示唆]

転入者は「子育てや子どもの教育に対しての支援」や「支援の種類や内容を分かりやすく教えてくれること」を重視している。一方で、転出者は「適切な住宅を得られるよう支援すること」や「適切な仕事の場を得られるよう支援すること」に高い関心を示している。転入者は生活の安定と情報提供を求める傾向が強く、転出者は住宅や仕事の安定を求める傾向が強い。

「高齢者や障害者に対して支援すること」については、転入者の方が転出者よりも重要視している。

地方都市への定住促進に重要だと思うことの違い

[転入者]

問 21 当地に住み続ける人が増えるためには、特に何が重要だと思われますか（2つまで）。

項 目	回答数	%
1. 安心して働ける仕事の場があること	54	17.1%
2. 適切な住宅に住めること	24	7.6%
3. 日常生活の便がよいこと	74	23.5%
4. 子育てや教育環境がよいこと	68	21.6%
5. 高齢者や障害者への福祉環境がよいこと	22	7.0%
6. 医療環境が整っていること	41	13.0%
7. 街や田舎暮らしの良さの PR	18	5.7%
8. その他	11	3.5%
無回答	3	1.0%
小 計	315	100.0%

[転出者]

問 20 地方都市に住み続ける人が増えるためには、特に何が重要だと思われますか（2つまで）。

項 目	回答数	%
1. 安心して働ける仕事の場があること	56	26.9%
2. 適切な住宅に住めること	20	9.6%
3. 日常生活の便がよいこと	57	27.4%
4. 子育てや教育環境がよいこと	28	13.5%
5. 高齢者や障害者への福祉環境がよいこと	9	4.3%
6. 医療環境が整っていること	21	10.1%
7. 街や田舎暮らしの良さの PR	8	3.8%
8. その他	6	2.9%

無回答	3	1.4%
小 計	208	100.0%

[示唆]

転入者は「日常生活の便がよいこと」や「子育てや教育環境がよいこと」を重視しており、生活の質や家族の生活環境に対する関心が高いことが分かる。

転出者は「安心して働ける仕事の間があること」や「日常生活の便がよいこと」を重視しており、特に仕事や生活の利便性に対する関心が高いことが分かる。

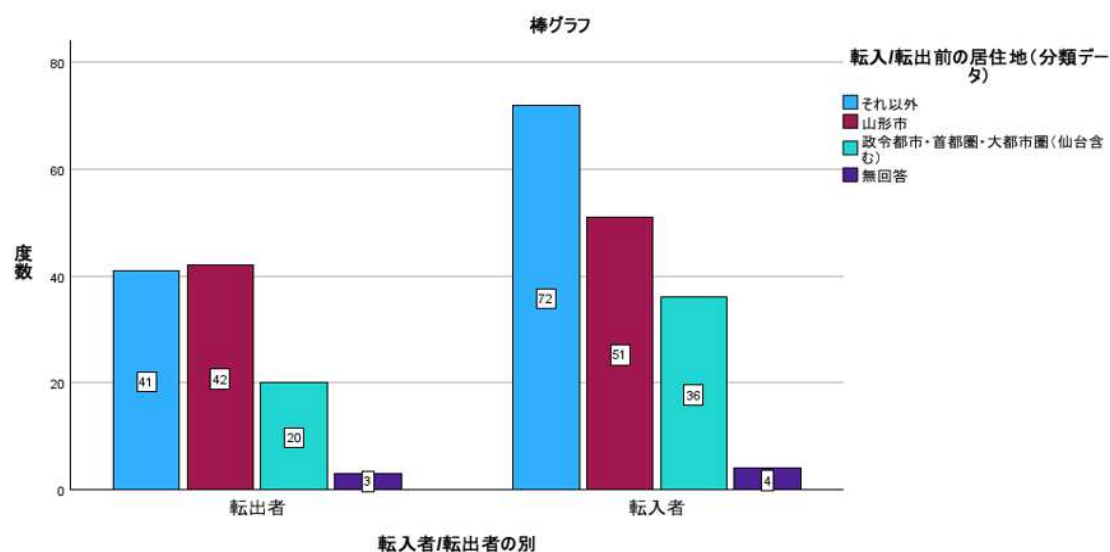
転出者は「医療環境が整っていること」をやや重視している一方で、転入者は「高齢者や障害者への福祉環境がよいこと」を比較的重視している。

両者とも「適切な住宅に住めること」については一定の関心を持っているが、他の項目に比べると優先度は低めである。

(4) 転入/転出先の比較

転入者/転出者の別 と 転入/転出前の居住地（分類データ） のクロス表

			転入/転出前の居住地（分類データ）				合計
			それ以外	山形市	政 令 都 市・首都 圏・大都市 圏（仙台含 む）	無回答	
転 入 者 / 転 出 者 の 別	転 出 者	度数	41	42	20	3	106
		転入者/転出 者の別 の %	38.7%	39.6%	18.9%	2.8%	100.0%
	転 入 者	度数	72	51	36	4	163
		転入者/転出 者の別 の %	44.2%	31.3%	22.1%	2.5%	100.0%
合計		度数	113	93	56	7	269
		転入者/転出 者の別 の %	42.0%	34.6%	20.8%	2.6%	100.0%



転入者/転出者の別 と 転入/転出先の住みごこち のクロス表

			転入/転出先の住みごこち					合計
			非常に住みよい	まあ住みよい	普通	やや住みにくい	非常に住みにくい	
転入者 / 転出者の別	転出者	度数	17	44	33	8	3	105
		転入者/ 転出者の別の%	16.2%	41.9%	31.4%	7.6%	2.9%	100.0%
	転入者	度数	15	63	52	20	13	163
		転入者/ 転出者の別の%	9.2%	38.7%	31.9%	12.3%	8.0%	100.0%
合計		度数	32	107	85	28	16	268
		転入者/ 転出者の別の%	11.9%	39.9%	31.7%	10.4%	6.0%	100.0%

転入者/転出者の別 と 転入/転出先への定住意向 のクロス表

			転入/転出先への定住意向					合計
			永 住 し よ う と 思 っ て い る	できれば 永住しよ うと思っ ている	転勤や結 婚などで どうなる かわから ない	できれば ほかに移 りたいと 思ってい る	あまり考 えたこと がない	
転 入 者 / 転 出 者 の 別	転 出 者	度数	13	24	29	18	22	106
		転入者/転 出者の別 の%	12.3%	22.6%	27.4%	17.0%	20.8%	100.0%
	転 入 者	度数	36	41	38	27	21	163
		転入者/転 出者の別 の%	22.1%	25.2%	23.3%	16.6%	12.9%	100.0%
合計		度数	49	65	67	45	43	269
		転入者/転 出者の別 の%	18.2%	24.2%	24.9%	16.7%	16.0%	100.0%

